

東北電力記者クラブ 御中

【熊本地震】自治体、産業支援機関向け 中小企業支援活動に関する各種支援について

～ 支援機関のための支援を実施～

公益財団法人 仙台市産業振興事業団では、先週から続く地震で甚大な被害がでている熊本県をはじめとする九州地方の各自治体、産業支援機関等に対して下記の支援を実施いたします。被災地の一日も早い復旧・復興が実現するように、東日本大震災時に培った中小企業支援にかかる情報提供を実施いたします。

■支援内容

- ・東日本大震災時に弊財団が仙台地域の中小企業・小規模事業者に対して実施した支援活動に関する情報の提供（「東日本大震災復興支援活動記録」【別添】の提供等）
- ・支援機関からの質問（被災企業への支援に関する相談、復旧支援事業の企画）への対応
- ・弊財団への協力打診（地域間連携、販路開拓等）への対応

■対象機関

- ・九州地方の各自治体、中小企業支援センター・商工会・商工会議所等の産業支援機関

■支援方法

Eメール等にて上記対象機関の担当者宛てにご案内（災害支援にかかる各種活動の妨げにならぬよう郵送は行いません）。

【対象機関の利用手順】

上記Eメールに記載のURLから仙台市産業振興事業団のホームページに移動していただき、情報のダウンロードや相談依頼等を行っていただきます。

【本件に関する問い合わせ先】

公益財団法人仙台市産業振興事業団

担当：産業振興部部长 笹井、産業創造部部长 関

〒980-6107 宮城県仙台市青葉区中央 1-3-1 AER7F Tel: 022-724-1212 Fax: 022-715-8205

Email: shiencenter@siip.city.sendai.jp Website: www.siip.city.sendai.jp

東日本大震災発生後1年間における仙台市産業振興事業団の企業支援活動

平成23年3月11日に発生した東日本大震災直後から1年間にわたり行ってきた弊財団の活動概要です。詳細は別添の復興支援活動記録をご覧くださいませ。ご不明な点がございましたら、また平成24年4月以降の復興支援活動についてご質問等がございましたら、お気軽にお問い合わせくださいませ。

開始日	東日本大震災発生から	仙台市産業振興事業団のアクション				
		種別	アクション	内容	復興支援活動記録	
平成23年 3月 11日	0 日目	-	「災害対策本部」を設置(3/11)	-	-	
	14日	3 日目	相談窓口	「災害経営特別相談窓口」を開設(3/14)		P6
	14日	3 日目	安否確認	支援企業の安否確認を開始(3/14～当面の間)	安否を確認するとともに、支援ニーズをヒアリング	-
	18日	7 日目	相談窓口	「東日本大震災に係る中小企業支援合同相談窓口」開設(～5/31)	仙台商工会議所など各種団体とともに合同相談窓口を設置	P6
4月 6日	26 日目	-	-	「震災復興支援方針」策定(4/6)	-	-
	11日	1 ヶ月	-	「復興支援本部」設置(4/11)	-	-
	11日	1 ヶ月	-	「震災復興支援計画」策定(4/11)	-	-
	13日	1 ヶ月	説明会	「中小企業者向け災害復旧貸付制度説明会」開催(4/13)	震災を機に設けられた災害復旧貸付制度の説明会を開催	P9
	22日	1 ヶ月	セミナー	「震災対応資金繰り・雇用関連ワンストップセミナー」開催(4/22・27)	資金繰りや雇用の安定化について関係機関とともに説明を実施	P9
5月 30日	2 ヶ月	販売会	「みやぎふるさと特産品販売会」(東京)開催(5/30～6/5)	仙台地域のみで流通していた商品を首都圏の消費者に訴求	P12	
6月 1日	3 ヶ月	オフィス提供	被災企業向けオフィス無償提供開始(6/1～2年間)	被災企業・個人事業主のための一時オフィスを提供	P10	
	27日	3 ヶ月	講演会	震災復興「東日本大震災復興講演会」開催(6/27)	復興に向けて重要となる“価値創造型の事業展開の方法”について講演	P9
	27日	3 ヶ月	販売会	「みやぎふるさと特産品販売会」(東京)開催(6/27～7/3)	仙台地域のみで流通していた商品を首都圏の消費者に訴求	P12
7月						
8月 4日	5 ヶ月	インターンシップ	「ジョブ・トライアル」開催(8/4～9/30)	事業復興に向けた人材発掘、他地域への人材流出防止を目的に開催	P34	
	10日	5 ヶ月	セミナー	「Wellbeing研究会」開催(8/10)	デジタルヘルスケアによる震災支援事例の紹介	P31
9月 2日	半 年	助成金	「富県チャレンジ応援基金」募集開始(9/2)			
	半 年	-	-	「震災復興支援計画」改訂(9/11)	-	-
10月 5日	7 ヶ月	展示会	「国際福祉機器展H.C.R2011」(東京)出展(10/5～10/7)	首都圏の展示会に支援企業と共同で出展(企業の出展負担はなし)	P11	
	27日	7 ヶ月	セミナー	震災復興「DMセミナー」開催(10/27)	震災で失われた顧客を取り戻すために必要なノウハウを学ぶセミナーを開催	P26
11月 3日	8 ヶ月	販売会	「仙台あおばスイーツデビュー！チャリティマーケット」開催(11/3～6)	農業の振興と地域経済の活性化を目的に販売会を開催	P18	
	9日	8 ヶ月	展示会	「中小企業総合展」(東京)出展(11/9～11/11)	首都圏の展示会に支援企業と共同で出展(企業の出展負担はなし)	P14
	11日	8 ヶ月	セミナー	震災復興「Googleセミナー」開催(11/11)	ウェブサイト活用による集客力、売上高UPの方法を学ぶセミナーを開催	P26
12月 2日	9 ヶ月	販売会	「仙台エネルギーギッシュ商店フェア」開催(12/2～12/4)	地域経済の復興と活性化を支援することを目的として開催	P19	
	8日	9 ヶ月	講演会	「震災復興特別企画～社の都と京の都～講演会等」(京都)開催(12/8)	京都市等による復興支援事業に参加。	P16
	15日	9 ヶ月	展示会	エコプロダクツ2011(12/15～12/17)	首都圏の展示会に支援企業と共同で出展(企業の出展負担はなし)	P14
平成24年 1月 30日	10 ヶ月	助成金	緊急販路開拓支援助成事業募集開始(1/30)	震災復興に向けて販路開拓を目指す企業に対して助成金を支給	-	
	30日	10 ヶ月	オフィス提供	起業育成室被災企業枠募集開始(1/30)	被災企業・個人事業主のための一時オフィスを提供	P10
	2月 2日	10 ヶ月	セミナー	震災復興「災害リスクマネジメントセミナー」開催(2/2)	事業継続計画(BCP)策定後に被災した企業事例に学ぶセミナーを開催	P26
	10日	10 ヶ月	販売会	「あおばスイーツバレンタインマーケット」開催(2/10～2/14)	農業の振興と地域経済の活性化を目的に販売会を開催	P18

問い合わせ先

公益財団法人仙台市産業振興事業団

〒980-6107 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER7F

Tel: 022-724-1212 Fax: 022-715-8205

Email: shiencenter@siip.city.sendai.jp

Website: www.siip.city.sendai.jp

Facebook: www.facebook.com/SENDAISangyo

GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE

3.11 東日本大震災

復興支援

活動記録

~Let's go forward~



はじめに

東北の太平洋沿岸地域を中心に未曾有の被害をもたらした、東日本大震災から一年が経過いたしました。改めて、東日本大震災でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、今もって厳しい生活を余儀なくされておられる多くの被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、平常再帰が困難な状況下でのご心労は、筆舌に尽くし難いものがあると思いますが、皆様方が一日も早く失意の念から解放されますことを祈念いたしております。

“平成23年3月11日14時46分”世界中を震撼させた東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）が発生。その直後、この地震に誘発され発生した巨大津波のテレビ映像が、私の脳裏に深く焼き付いており、今でもその時の様子を鮮明に覚えております。鈍色の雲が低く垂れ込める中、太平洋上で発生した幾重もの巨大な白波が、仙台近郊の海岸に一気に駆け上がり、白砂青松の海岸線を破壊し、仙台平野の田園地帯を猛烈な勢いで突き進むその映像をテレビで見た時、予想外の事態に発する言葉が思いつかず絶句いたしました。その後、私自身も数か所の被災地を訪れましたが、自然の猛威による惨状を目の当たりにして、言葉を失い、頭を垂れる他はありませんでしたが、大惨事の中でも保たれた地域社会の秩序と、悲しみに寄り添い、寧ろ穏やかな表情を浮かべる被災者の精神の気高さに胸を打たれました。また、自衛隊、消防、警察などによる不撓不屈の活動や全国から寄せられた多くの善意に、「日本人は決して屈しない」という思いを新たにいたしました。

この東日本大震災の地震は、日本観測史上最大のマグニチュード9.0を記録するとともに、最大震度も宮城県北部で震度7を観測するなど、世界最大級の巨大地震でしたが、地震発生直後に太平洋沿岸地域に襲来した巨大津波も、場所によっては波高が10mに達するなどその規模は想定域を超えており、町そのものを一瞬にして飲み込むなど、多くの尊い人命と日々の平穏な暮らしを奪い去りました。また、この二つの自然災害の直撃を受けた福島第一原子力発電所の放射性物質拡散事故や発電施設被害による電力供給不足等の災害が広域で同時多発したことで、電気、通信、上下水道、ガス、交通網などの社会インフラ機能の諸課題が露呈し、サプライチェーンの寸断等国内外の製造業等へもその影響が波及するなど、一連の事態が状況を一層悪化させ、想像を絶する甚大な被害を東日本の各地にもたらしました。

現在、仙台経済の屋台骨を支えている中小企業は、歴史的な円高やデフレが進行する厳しい経済環境下にあります。今回の震災は、巨大化した社会システムそのものの脆さ・弱点を顕在化させ、既定概念に囚われない新システム構築の重要性を我々に突き付けているようにも思えてなりません。一方で、国内はもとより、世界中から被災地への支援の輪が広がり、「結い」等日本社会の伝統的な社会感やグローバルな連携・連帯の意識など「絆」の大切さに我々は改めて気づかされました。被災した企業の中から徐々に絶望から立ち直り、本格的な復興に向けて一歩を歩み出した企業も少なくありません。

この様な状況の中、仙台市域の中小企業を中心に、経営革新や産学連携の支援等を行っている当事業団では、震災発生後直ちに東日本大震災・復興支援本部を設置し、これまで、市内の中小企業支援機関等と連携したワンストップ相談窓口である中小企業支援合同相談窓口の設置や震災で販路が減退している中小企業等の販路開拓を支援する施策等を総力挙げて、総合的かつ計画的に実施してまいりました。この報告書は、これら当事業団が震災後に行ってきた震災復興に係る事業等の活動記録をまとめたものですが、今後の震災復興の一助になるとともに、中長期的な視点での災害対応の参考になれば幸甚に存じます。

東日本大震災発生からの当事業団の震災復興に係わる活動等

	事業団の活動	仙台市等の主要動向
H23 3月	「災害対策本部」設置 (3/11) 「災害経営特別相談窓口」開設 (3/14) 支援企業安否確認開始 (3/14) 「東日本大震災に係る中小企業支援合同相談窓口」開設 (3/18～5/31)	東日本大震災発生 (3/11 14:46) マグニチュード9.0 「仙台市災害対策本部」設置 (3/11)
4月	「震災復興支援方針」策定 (4/6) 「復興支援本部」設置 (4/11) 「震災復興支援計画」策定 (4/11) 「中小企業者向け災害復旧貸付制度説明会」開催 (4/13) 「震災対応資金繰り・雇用関連ワンストップセミナー」開催 (4/22・4/27)	「仙台市震災復興基本方針」策定 (4/1) 震災後最大余震発生 (4/7 23:32) マグニチュード7.1 市内広域水道及び都市ガス復旧完了 (一部地域を除く) (4/16) 市営バス及び宮城交通バス運行再開 (4/18) 市営地下鉄南北線及び東北新幹線運行再開 (4/29)
5月	「みやぎふるさと特産品販売会①」開催 (5/30～6/5)	「仙台市震災復興推進本部会議・震災復興本部」設置 (5/1) 仙台市「復興座談会」開催 (5/21～5/29) 仙台市震災復興ビジョン」策定 (5/30)
6月	被災企業向けオフィス無償提供開始 (6/1～3/31) 「シニア元気あっぷ青空運動教室」開催 (6/14～11/22) 震災復興「東日本大震災復興講演会」開催 (6/27) 「みやぎふるさと特産品販売会②」開催 (6/27～7/3)	仙台港発着フェリー全区間運行再開 (6/5) 「仙台経済の回復を目指す当面の取り組み (4つの柱と16の集中経済施策)」策定 (6/6) 仙台市「復興まちづくり意見交換会」開催 (6/12～6/26)
7月		電力使用制限開始 (7/1～9/9) 「東日本大震災慰霊祭」開催 (7/11) 「東北六魂祭」開催 (7/13～7/17) 仙台空港発着国内線運行再開 (7/25) 仙台市内全避難所閉鎖 (7/31)
8月	「Wellbeing研究会①」開催 (8/10) 「ジョブ・トライアル合同面接会」開催 (8/4)	「災害派遣自衛隊感謝式」開催 (8/1) 「仙台七夕祭り」開催 (8/6～8/8)
9月	富県チャレンジ応援基金募集開始 (9/2) 震災復興支援計画改訂 (9/11)	「仙台市震災復興計画 (中間案)」策定 (9/20) 仙台空港完全復旧 (9/25)
10月	「国際福祉機器展H.C.R2011」出展 (10/5～10/7) 「Wellbeing研究会②」開催 (10/14) 震災復興「DMセミナー」開催 (10/27)	仙台空港アクセス鉄道全線運行再開 (10/1) 「仙台市震災復興計画中間案説明会」開催 (10/8～10/16)
11月	「仙台あおばスイーツデビュー!チャリティマーケット」開催 (11/3～11/6) 「SENDAI PAVILION in 中小企業総合展」開催 (11/9～11/11) 「Wellbeing研究会③」開催 (11/10) 震災復興「Googleセミナー」開催 (11/11)	「仙台市震災復興計画」策定 (11/30)
12月	「仙台エネルギーショップフェア」開催 (12/2～12/4) 「Wellbeing研究会④」開催 (12/6) 「震災復興特別企画～杜の都と京の都～講演会等」開催 (12/8) エコプロダクツ2011 (12/15～12/17)	「仙台光のページェント」開催 (12/2～12/31) 宮城県内全避難所閉鎖 (12/30)
H24 1月	緊急販路開拓支援助成事業募集開始 (1/30) 起業育成室被災企業枠募集開始 (1/30)	仙台港北米航路再開 (1/22)
2月	震災復興「災害リスクマネジメントセミナー」開催 (2/2) 「あおばスイーツバレンタインマーケット」開催 (2/10～2/14) 「Wellbeing研究会⑤」開催 (2/17)	「仙台経済ステップアッププラン2012」策定 (2/7) 復興庁発足 (2/10)

(財) 仙台市産業振興事業団の支援概要

(財) 仙台市産業振興事業団は、新規創業、中小企業の経営改善、産学連携などをトータルにサポートする総合支援機関です。仙台市内中小企業の方や、創業を希望する方の身近な相談・支援機関としてご利用いただいております。

様々な経営課題に・・・



多様な支援メニューで応えます!

創業の支援

創業者支援セミナー（創業にあたっての心構えや具体的な進め方を学びます）
ハンズオン支援（新規事業成功に向け多面的なサポートを実施）
起業育成室（インキュベーション施設）の運営

経営改善の支援

総合相談（マーケティング・資金繰り・販路開拓等多様な経営課題の相談、企業訪問）
経営革新セミナー（販路開拓等の具体的な手法を学びます）
中小企業経営診断事業（経営課題に応じた専門家を派遣）

産学連携の支援

地域連携フェロー（大学教授等）による御用聞き企業訪問
寺子屋せんだい（大学教授等講師によるサロン形式セミナー）
産学連携専門家派遣（各専門分野の教授等による訪問、技術的な相談）

健康福祉ビジネスの支援

健康福祉サービス・機器開発委託事業
Wellbeing 研究会の開催
研究開発館プロジェクトルーム（製品開発・新事業進出インキュベーション施設）

販路開拓の支援

各種展示会・販売会の開催
首都圏、他都市で開催される各種イベントへの出展支援
緊急販路拡大支援事業（市内インキュベーション施設入居企業向け）

求人の支援

無料職業紹介（厚生労働省許可）
ジョブトライアル（若年求職者の就業体験）

目次

	はじめに	2
	東日本大震災発生からの当事業団の震災復興に係わる活動等	3
	(財) 仙台市産業振興事業団の支援概要	4
震災直後の早期の支援	東日本大震災に係わる中小企業支援合同相談窓口	6
	復旧・復興支援のためのセミナー・説明会	9
	被災企業向けオフィス無償提供	10
PR機会提供による復興支援	国際福祉機器展H.C.R 2011	11
	宮城ふるさとプラザ「みやぎふるさと特産品販売会」	12
	SENDAI PAVILION in 中小企業総合展2011～仙台のものづくり・デザイン・ICTをパッケージでPR～	14
	東日本大震災復興支援特別企画～手を繋ごう、杜の都と京の都～	16
	エコプロダクツ2011「Green For All, All For Green～日本発!エコの力で明日を変える～」	17
	仙台あおばスイーツ「デビュー!チャリティマーケット」&「バレンタインマーケット」	18
	仙台エネルギーギッシュ商店フェア	19
個別の相談等	総合相談	20
	中小企業経営診断事業	22
	ハンズオン支援	23
セミナー・情報提供	創業者支援セミナー	24
	経営革新セミナー	26
	仙台エネルギーギッシュ企業チャンネル	27
産学連携	御用聞き型企業訪問事業（震災復興版）	28
	寺子屋せんだい（産学連携セミナー）	30
健康・福祉産業の支援	Wellbeing 研究会	31
	健康維持活動への協力参加	32
	フィンランドからの支援	33
求職者支援	ジョブ・トライアル（若年求職者就業体験研修）	34



東日本大震災に係わる 中小企業支援合同相談窓口

当事業団では、震災発生当日の3月11日に『東日本大震災・災害対策本部』を設置し、週明け月曜日の3月14日には『災害特別経営相談窓口』を開設いたしました。しかし、日々刻々と明らかになってくる甚大な被害状況から、より広範で多面的なご相談に効率良く対応する必要があると判断し、仙台商工会議所など他の中小企業支援機関などにもご相談申し上げ、震災発生から1週間後の3月18日に、当事業団が入居するAER5階にワンストップの相談窓口『中小企業支援合同相談窓口』を開設いたしました。

設置概要

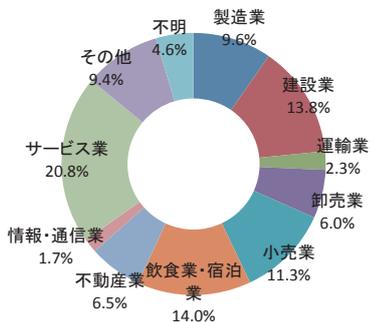
設置期間 平成23年3月18日（金）～5月31日（火）

設置場所 AER5階 情報・産業プラザ

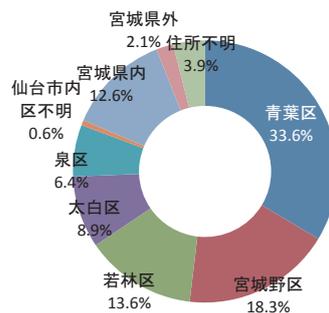
設置団体 （財）仙台市産業振興事業団・仙台商工会議所・（株）日本政策金融公庫・（独）中小企業基盤整備機構・（財）仙台市健康福祉事業団・宮城県災害復興支援士業連絡会（宮城県社会保険労務士会・宮城県司法書士会・宮城県土地家屋調査士会・仙台弁護士会・宮城県不動産鑑定士協会・東北税理士会）

相談者データ

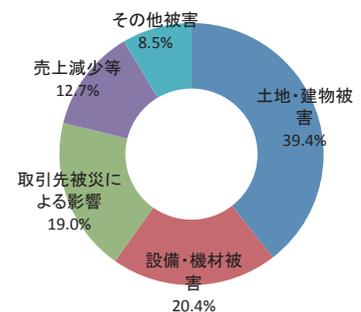
(1) 業種



(2) 所在地



(3) 被災状況

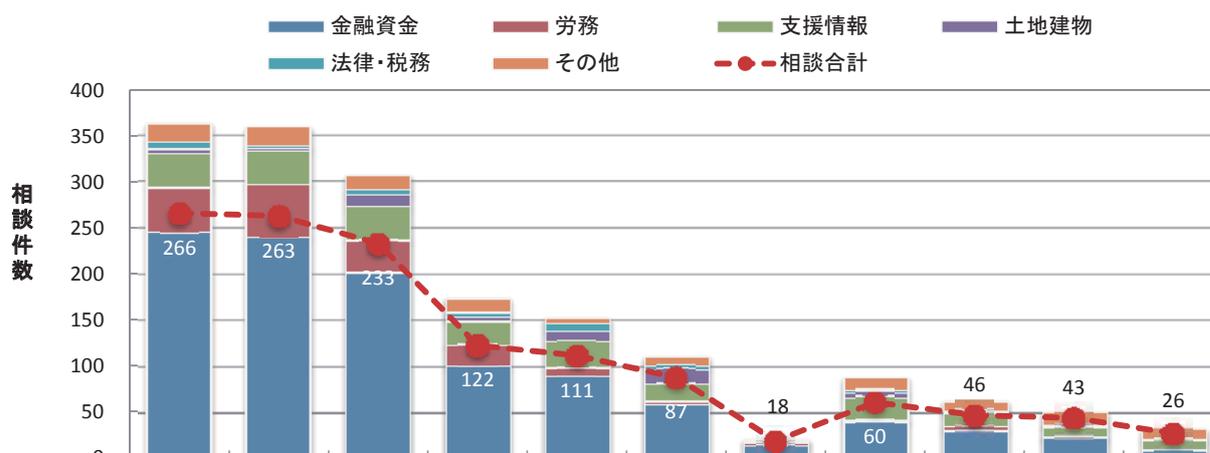


相談内容と件数の推移

3月18日から1週間毎（金～木）の相談件数は次頁の通りで、相談は、第1週から第3週（3月18日～4月7日）に集中しており、相談件数が1日あたり30件以上の日もありました。想定していた以上に相談者が来所し、順番待ちをする程、混雑した時期もあったことから（最も相談件数が多かった日は震災翌週3連休明けの3月22日（火）で80件の相談がありました。）震災発生直後に、ワンストップで対応する相談窓口を開設したことが有効であったと考えられます。

【金融資金】については、日本政策金融公庫や仙台商工会議所への相談が多く、震災対応のための資金繰りや早急な復旧・再開に向けての借入についての相談が中心でした。震災に伴う借入では、り災証明書等の書類が必要であったことから、貸付の制度説明以外に、借入の申請方法や申請窓口の紹介等も行いました。なお、第7週までは、【金融資金】の相談者の割合が高い傾向にありました。

図表 相談内容と件数の推移



週区分	総計	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週
自	3月18日	3月18日	3月25日	4月1日	4月8日	4月15日	4月22日	4月29日	5月6日	5月13日	5月20日	5月27日
至	5月31日	3月24日	3月31日	4月7日	4月14日	4月21日	4月28日	5月2日	5月12日	5月19日	5月26日	5月31日
日数	62日	7日	7日	7日	7日	7日	7日	3日	5日	5日	5日	3日
相談合計	1,275	266	263	233	122	111	87	18	60	46	43	26
%	100	20.9	20.6	18.3	9.6	8.7	6.8	1.4	4.7	3.6	3.4	2
1日あたり	21	38	38	33	17	16	12	6	12	9	9	9
相談内容合計	1,723	363	359	307	174	153	111	21	88	63	51	33
金融資金	1,057	246	240	202	101	90	59	15	40	31	23	10
	61.3	67.8	66.9	65.8	58	58.8	53.2	71.4	45.5	49.2	45.1	30.3
労務	187	48	57	35	23	9	4	2	2	5	2	
	10.9	13.2	15.9	11.4	13.2	5.9	3.6	9.5	2.3	7.9	3.9	0
支援情報	243	36	36	36	25	28	19	3	25	14	10	11
	14.1	9.9	10	11.7	14.4	18.3	17.1	14.3	28.4	22.2	19.6	33.3
うち助成金	120	11	18	9	14	12	11	2	15	11	8	9
	7	3	5	2.9	8	7.8	9.9	9.5	17	17.5	15.7	27.3
土地建物	62	5	3	13	5	12	15		5		3	1
	3.6	1.4	0.8	4.2	2.9	7.8	13.5		5.7		5.9	3
法律・税務	40	8	3	5	5	8	5		3	3		
	2.3	2.2	0.8	1.6	2.9	5.2	4.5		3.4	4.8		
その他	134	20	20	16	15	6	9	1	13	10	13	11
	7.8	5.5	5.6	5.2	8.6	3.9	8.1	4.8	14.8	15.9	25.5	33.3

【労務】については、従業員の雇用に関する相談が多く、雇用継続や休業に伴う助成金制度の相談先となるハローワークへの紹介も行いました。また、雇用調整助成金の利用を検討する事業者の中には、手続きの煩雑さや、支給までに時間がかかる点、手続きが不便な地域への対応などを改善してほしいという要望もありました。【労務】の相談は第4週まで多く、「震災直後に営業停止になってしまった店の従業員に対してどのように対応すべきか」、などといった相談もありました。

第4週目の4月8日からは、各機関が独自に相談窓口の設置を開始したことから、合同相談の件数はそれまでの半分程に減少しました。しかし、4月7日に発生した余震で、被災した事業所等もあり、「既に震災貸付を利用したが、追加の融資は可能か」などといった【金融資金】に関する相談が一時的に増加しました。

第8週目の5月6日以降になると、各機関の相談体制が整備されたことから、窓口での相談は少なくなったものの、電話による相談は依然として多く、支援金



相談ブース全景

や助成金等の相談件数が半数以上を占めるようになりました。

なお、期間を通して、青葉区の方からの相談が多く、特に、第1週から第3週までと、第6週、第9週で相談者比率が高い傾向が見られました。第3週までは仙台市を除く宮城県内の方からの相談も多く、いち早く立ち上げたワンストップによる合同相談窓口へのニーズと信用は市域を越えて高かったと考えられます。

合同相談窓口に多くの相談者が来訪した理由と

しては、①震災後一週間という早期にワンストップの合同相談窓口を設置したことがプレスリリースにより連日 NHK を始めとするマスコミ各社の TV テロップ、ラジオ、新聞等で「経営支援情報」として流れたこと、②合同相談窓口の状況や取組みが TV や新聞・経済誌等に取材されたこと、の2点が挙げられます。

これにより市内・県内はもとより県外からも多くの相談者を集めることとなりました。



相談員の方々

相談事例

(有) Y's Planning (飲食店)

仙台市内でハンバーグレストラン等の飲食店を展開する(有) Y's Planningの代表取締役 角田秀晴氏は、震災翌日から被災者の炊き出しを行うなど「食」に対する支援活動を行なってきました。しかし、震災被害の大きかった店舗もあったことから運転資金や雇用の問題が発生しており、AER5階で開催していた「中小企業支援合同相談窓口」を利用されました。

その後、金融機関から融資を受け、社員の協力も得ながら、被災店舗の閉鎖や新規出店を実施し、年末には震災前の水準にまで経営状況を回復させ、目標であったV字回復を達成したそうです。「これも従業員の頑張りのおかげです」と語る角田社長は、今後もお客様に支持されるようにホスピタリティを高め、「外食する楽しさ」を提供していきたいとおっしゃっておられました。



住所 仙台市青葉区立町2-7-201

TEL 022-268-9555

URL <http://www.maido-8.com>

東日本大震災からの 復旧・復興支援のためのセミナー・説明会

当事業団では、震災で停滞した地域経済の一日も早い復旧・復興を支援するため、資金繰りや雇用安定化、事業再構築のためのセミナーや説明会を開催いたしました。

中小企業者向け災害復旧貸付制度説明会

開催日時	平成23年4月13日(水) 10:00~11:30
開催場所	(財)仙台市産業振興事業団会議室
講師	(株)日本政策金融公庫仙台支店 中小企業事業融資第二課 課長 村井 和浩 氏 国民生活事業 創業支援センター東北 所長 鈴木 孝 氏 農林水産事業 農業食品課 調査役 荒関 淳 氏
主催	(財)仙台市産業振興事業団、(株)日本政策金融公庫仙台支店、仙台商工会議所



今回の震災により被害を受け、再起のための設備投資や取引先、従業員へ給与支払い等の資金需要が発生している中小企業者等を対象に、資金調達を支援するために設けられた災害復旧貸付制度の説明会を開催し、制度概要や手続き方法などを講師からご説明いただきました。

震災対応資金繰り・雇用関連ワンストップセミナー

開催日時	平成23年4月22日(金)・27日(水) 13:30~16:00
開催場所	仙台商工会議所 7階大会議室(仙台市青葉区本町2-16-12)
講師	特定社会保険労務士 豊嶋 正孝 氏 他
主催	仙台商工会議所、(財)仙台市産業振興事業団



資金繰りについては、災害復旧に係る政府系金融機関等の融資制度を(株)日本政策金融公庫、宮城県信用保証協会、仙台商工会議所の各機関より、ご説明いただきました。また、雇用については、雇用安定化に向けた各種助成金の活用方法や中小企業緊急雇用安定助成金の申請方法などを講師からご説明いただきました。

東日本大震災復興講演会「今、この時だからこそビジネスパーソンに伝えたいこと」 ~これからの消費の読み方と商工業が元気になる具体的手立て~

開催日時	平成23年6月27日(月) 13:00~16:00
開催場所	ハーネル仙台2階「松島」(仙台市青葉区本町2-12-7)
講師	オラクルひと・しくみ研究所 代表・博士(情報学) 小阪 裕司 氏
主催	(財)仙台市産業振興事業団、オラクルひと・しくみ研究所、 仙台商工会議所、(社)東北ニュービジネス協議会



事業の復興に当たって重要となる“価値創造型の事業展開の方法”について、講師からご説明いただきました。

講演内容抜粋

- 多くの企業が、“人”にフォーカスせず、“モノ(商品)”に着目していますが、売り上げをつくるのは商品ではなく、それを購入する“人”です。
- 統計的にも、物質的な豊かさに対する欲求より、心の豊かさや毎日の充実感などに対する欲求が大きく上回っていることは明らかです。何を売るかより、どんな心の豊かさを顧客に提供するかがより重要であり、それを顧客の感性に訴える必要があります。
- 従って、価値創造型の事業展開が重要であり、顧客が価値を感じ、購買に至るまでの購買行動モデルをよく検証しなければなりません。

被災企業向けオフィス無償提供

期 間 平成23年6月1日（水）～平成24年3月31日（土）

対象室数 2室



東日本大震災により被災された企業・個人事業主の方の一時オフィスとして、仙台フィンランド健康福祉センター研究開発館プロジェクトルームを無償でご提供させていただきました。

プロジェクトルームは、健康福祉分野で研究開発を行う企業、大学、研究機関等に提供するレンタルオフィスです。

フィンランド側関係機関との提携により、従来、4室ずつを自国の企業等に提供しておりますが、今回の無償提供に当たっては、先方のご厚意により、フィンランド企業向けに用意している部屋の一部をご提供しました。

5月中旬から9月末にかけての公募の結果、2社の在仙企業様にご利用いただきました。

研究開発館では、高齢者の生活の質の向上を目指し、企業、大学、研究機関等が連携し、健康福祉サービス・機器の研究開発に取り組んでいます。

開発拠点としてご提供するプロジェクトルームには、机・椅子、書棚、LAN回線などを標準で備え付けている他、開発を円滑に進めるための福祉関係者とのマッチング等、充実したソフト支援を行なっておりますので、ぜひご活用下さい。

仙台フィンランド健康福祉センター



<研究開発館>

(設置運営：(財) 仙台市産業振興事業団)

<特別養護老人ホームせんだんの館>

(設置運営：(社福) 東北福祉会)

東日本大震災による事務所の損壊等の直接被害を受けながら、事業の再構築等を図る中小企業者を対象に、仙台市のインキュベーション施設である「起業育成室（AER8階・10室中3室）」を提供し、被災した中小企業を支援します。使用期間は2年間で、入居から1年間は使用料全額免除（共益費や電気料等は別途負担有り）となっております。





国際福祉機器展 H.C.R 2011

開催日 平成23年10月5日(水)～7日(金)
開催場所 東京ビッグサイト 東展示ホール(東京都江東区有明3-11-1)
主催 全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会



当事業団では、東京ビッグサイトで開催された国際福祉機器展H.C.R 2011に仙台地域の福祉関連企業5社とともに出品いたしました。今回で38回目を迎えた同展示会は、福祉・リハビリ関連機器・サービスの展示会としては日本最大規模のもので(来場者:118,154名 ※主催者発表)。出品した企業5社は製品認知度の向上、新規顧客の開拓、企業間連携の構築に取り組みました。

本事業は、仙台地域の福祉関連企業の全国規模での販路拡大を目的として行なっているもので、平成18年から毎年1回程度、福祉関連の国際展示会に出品しています。当事業団が出品に関する諸手続やブース設計・設営などを行うことで、共同出品企業が販促に集中できる環境を整備し、展示会への出品経験がない企業でも出品効果を得られやすいようにしています。また例年、共同出品企業から一部費用を負担していただき出品していますが、平成23年度は、東日本大震災の復旧復興支援の一環として共同出品企業の費用負担をなくしました。

国際福祉機器展H.C.R2011 共同出品者および製品

(有) 青葉テクノソリューションズ
 リハビリアシストリフト
 「リハゲート Reha-Gate」



アトリエ. AKIKO
 「おしゃれな機能服」



(株) コンピュータシステム研究所
 福祉住環境専用CADシステム「Care House Planner」+住宅模型



(株) ジェー・シー・アイ
 やさしく見守る支援システム
 「尊命人間 (どうめいにんげん)」



(株) 邦友
 車椅子起立補助装置
 「助立ちForYou」



国際福祉機器展H.C.R出展 に関するお問い合わせ

FWBC 推進本部 FWBC 推進室
 仙台フィンランド健康福祉センター
 研究開発館

〒981-0962
 仙台市青葉区水の森3-24-1
 Tel ■ 022-303-2666
 Fax ■ 022-303-2667
 Website ■ <http://sendai.fwbc.jp/>
 Email ■ rdunit@sendai.fwbc.jp

宮城ふるさとプラザ 「みやぎふるさと特産品販売会」

開催日	第1回 平成23年5月30日（月）～6月5日（日）、第2回 平成23年6月27日（月）～7月3日（日）
開催場所	宮城ふるさとプラザ（東京都豊島区東池袋1-2-2 東池ビル1・2階）
主催	（財）仙台市産業振興事業団、NAViS（（株）仙台ソフトウェアセンター）
URL	http://www.siip.city.sendai.jp/cb_shinjigyo/miyagifurusatopuraza.html http://www.siip.city.sendai.jp/documents/miyagihurusatohoukoku20110719.pdf

趣旨

東日本大震災により、地域における従来の流通機能が失われ、仙台地域の中小企業等も取引先や販路を失うなど事業停滞を余儀なくされました。

そこで、NAViS（（株）仙台ソフトウェアセンター）と当事業団では、これまで地域のみで流通していた商品を首都圏の消費者に訴求し、東北ファンの広がりによる被災企業の経済的な復興を目的として、『みやぎふるさと特産品販売会』を東京の池袋にある「宮城ふるさとプラザ」で開催しました。

参加したのは宮城県内の中小企業者15社。各社の販売を当事業団が支援し、東京のお客様に“地元のいいモノ”を力強くアピールしました。

第1回

出展企業と商品（順不同）

- ① 仙臺しそ巻 細川屋（仙台名産しそ巻き）
- ② （株）庄司（みちのく紅漬け、アップルアンドスイートポテトパイ）
- ③ （株）モトキ（米粉めん）
- ④ （株）北上京だんご本舗（ずんだだんご、ずんだ大福）
- ⑤ （株）花兄園（プリン、シフォンケーキ、マヨネーズ、卵）
- ⑥ （株）海祥（仙台あおば餃子）
- ⑦ （株）プロジェクト・エム（伊達な桑茶）
- ⑧ （有）宮城鮎工房（鮎の一夜干し、甘露煮）

第2回

出展企業と商品（順不同）

- ① （株）木の屋石巻水産（金華さば水煮缶詰）
- ② （有）カネキチ阿部源食品（あなご蒲焼百選、あなご巻き【匠】）
- ③ （株）キクチ（仙台ミニ七夕飾り）
- ④ （株）モビーディック（ウェットスーツ素材のキーホルダー、ドリンクホルダー・ケータイホルダー）
- ⑤ 仙台農業協同組合（秋保米、松島米）
- ⑥ （株）中村商店（ドライバー用安全足進（サンダル））
- ⑦ トレボン食品（株）（がんばろう日本サイダー、伊達サイダー、おやじの晩酌（日本酒風味）、ママの晩酌（梅酒風味）、こどもの晩酌）

販売の様子



実績・成果

今回の販売会では、宮城ふるさとプラザ内において、試食販売を行いながら詳しく商品説明を行ったこともあり、今回出展したイベント販売コーナーは、終日多くのお客様で賑わいました。

震災から間もなくの復興支援の取組みということもあり、お客様からは「がんばってください!」「応援しています!」など、たくさんの温かい言葉を掛けていただき、用意した七夕飾りの短冊には被災地に向けた応援メッセージを書いていただきました。

また、今回の販売会に出品した商品は非常に好評で、そのほとんどが完売となり、大手百貨店の購買担当者の来訪や複数のメディア取材を受けました。

- 販売実績 第1回、第2回共に約1,000,000円の売上実績
- 販路開拓 12件
- メディア取材 5件



出展企業の声

(株) 海鮮

仙台の伝統野菜である雪菜をたっぷり使用した“仙台あおば餃子”の試食販売を行いました。売れ行きは、予想以上で、今後の首都圏等での販売可能性に自信ができました。また、商品についての意見を直接お客様から収集できました。

当社は塩釜工場が津波で被災したほか、主力の水産加工品は供給体制・風評被害などの課題が一部残りますが、このような機会を活用し、一日も早い地域経済の復興に寄与できればと考えております。

住所 仙台市若林区卸町
5-3-4

TEL 022-232-7250

URL <https://www.kaisho.net/shop/>



(株) 庄司

当社は業務用の野菜、カット野菜・フルーツなどの卸売のほか、河原町で小売店を経営しております。震災後の最大余震により、若林区にある業務センターの建屋が被災しました。

今回の販売会では、見た目も鮮やかな大根の千枚漬“みちのく紅漬け”と八百屋さんのスイーツ®“アップルアンドスイートポテトパイ”を出品しました。これまで店頭と通信販売でのみ販売しており、地元にはリピーターが多数いますが、首都圏への販路拡大とお客様の反応を見る目的で参加しました。年齢層が高く、公共交通機関で来店するアンテナショップのお客様には、より少量のパッケージングが好まれることが判明しましたので、改善に向け検討したいと思います。

住所 仙台市若林区河原町1-1-19

TEL 022-223-3382

URL <http://www.shoji-sendai.co.jp/>



(株) キクチ

当社からは、自社製品の“仙台ミニ七夕飾り”を出品しました。また、毎年仙台七夕で使っている当社社員が製作した七夕飾りも展示しました。七夕飾りは、みやぎふるさとプラザ展示中に思いがけず、大手百貨店から七夕飾りのレンタルを申し出ていただき、当社の七夕飾りが仙台の震災からの復興PRに役立ったと感じております。この度は、「みやぎふるさと特産品販売会」にお誘いいただきありがとうございました。

住所 仙台市青葉区一番町
4-10-18

TEL 022-222-7511

URL <http://www.kk-kikuchi.com/>



(有) カネキチ阿部源食品

今回の販売会では、当社の“あなご蒲焼百選”と“あなご巻き【匠】”の2商品を出品しました。5日間で2商品合わせて500個を販売でき、出品した商品は全て完売することができました。また、当社商品への首都圏での反響も確認でき、自信に繋がるとともに非常に有意義な販売会だったと思っています。このような素晴らしい企画を主催していただいた事業団の皆様には大変感謝しております。

住所 宮城郡七ヶ浜町遠山
5-5-55

TEL 022-367-6100

URL <http://www.kanekichi-abegen.com/>



SENDAI PAVILION in 中小企業総合展2011 ～仙台のものづくり・デザイン・ICTを パッケージでPR～

開催日 平成23年11月9日(水)～11日(金)

開催場所 幕張メッセ展示ホール1 パブリックゾーン (千葉県千葉市美浜区中瀬2-1)

URL http://www.siip.city.sendai.jp/cb_shinjigyo/sendaipavilion2011gaiyou.html

SENDAI PAVILION の紹介

当事業団では、地域中小企業者の優れた製品や震災から復旧・復興しつつある仙台の魅力をアピールすることを目的として、全国の中小企業などが一堂に会するイベント「中小企業総合展2011」に仙台の優れた新技術等を持ったものづくり企業やデザイン活用企業、ICT企業と共に“SENDAI PAVILION”を出展しました。

SENDAI PAVILIONは、より多くの方に来場していただき、出展企業の製品等を強くPRするため、地域のクリエイターやプロモーターと協力し、様々な仕掛けを盛り込みながら制作しました。

例えば、パビリオンのデザイン設計を仙台のデザイナーによる音・映像・空間の優れた手法で組合せ、また、動画共有サービスUSTREAM（ユーストリーム）を活用し、SENDAI PAVILIONの様子をリアルタイムで全国に向けて広く発信しました。

さらに、奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊と東北芸術工科大学大学院仙台スクールが企画する花告プロジェクトを連動させたイベント「伊達な男の花告講座」なども行い、SENDAI PAVILIONを盛り上げるための様々な趣向を凝らした取組みを行いました。

SENDAI PAVILION を盛り上げた数々のイベント

SENDAI PAVILION in 中小企業総合展2011のスタートを切るオープニングセレモニー。当事業団の理事長からの挨拶に続き、出展企業からの製品等のプレゼンテーション。各企業ともわかりやすくSENDAI PAVILIONの来場者の方々に自社の製品等の良さをPRしました。SENDAI PAVILIONのMCも出展企業をそれぞれ回り、USTREAMを使ったリアルタイムでの動画配信をしながら、企業や製品等を全国に向けて発信しました。

さらには、伊達武将隊がMCを務め、堀切川一男先生（東北大学大学院工学研究科教授・仙台市地域連携フェロー）による講演「敷居の低い産学連携モデル・仙台堀切川モデルの紹介」を行いました。堀切川一男先生の講演は来場者の皆様に非常に好評で、当初予定していた席は満席となり、立ち見が多数出るほどの盛況ぶりでした。

最終日にはSENDAI PAVILIONで実施したイベントの締めとして、仙台を代表するICTベンチャー企業、アンデックス（株）代表取締役 三嶋 順 氏から仙台のICT産業のすばらしさを訴えた講演「ICT企業によるスマートフォンを活用した製品開発の取組みを行いました」。

以上のように、当事業団のSENDAI PAVILIONでは、連日イベントが行われ、来場者が空くことの無い盛況ぶりとなりました。



仙台が誇る魅力的な出展企業

SENDAI PAVILIONには、仙台が誇る魅力的な製品等を持つ中小企業者が多数参加しました。ものづくり分野で9社、デザイン活用分野で4社、ICT分野では2企業1団体が、自慢の製品等を来場者にPRしました。出展企業の出展概要は次のとおりです。

ものづくり

<p>(株)アースクリーン東北 打ち水原理（気化熱）を活用した空調機。大幅な省エネと環境改善を実現 製品名「スポットメガクール」</p>	<p>(株)亀山鉄工所 伝熱面積が最大、メンテナンスが容易でスケールが付着しにくい熱交換機 製品名「e²-HEX（イーヘックス）」</p>	<p>空調企業(株) 電気を使わないサーキュレーター。室内の温度差を低減し快適空間を創出 製品名「Wind Will（ウィンドウィル）」</p>
<p>弘進ゴム(株) 水や油で濡れた床面でも滑りにくい食品加工・厨房用スニーカー 製品名「シェフメイトグラスパー」</p>	<p>磁化発電ラボ(株) 高磁力・高精度着磁装置。自動車のABS用センサーリングなどの多極磁石の製造に最適 製品名「ABS用多極着磁装置」</p>	<p>士木地質(株) 耐硫酸性に優れ、骨材として大量の無機系廃棄物が、使用可能な高耐久性固化材 製品名「ハイデガス/ハイデクリート」</p>
<p>(株)メムス・コア MEMS技術を用いた高性能センサー。電磁ノイズの影響を受けにくい遠隔計測が可能 製品名「光ファイバー加速度センサー」</p>	<p>(株)吉岡 太陽光を跳ね返す高反射率屋根材 製品名「ウッドピースエコテクノ」</p>	<p>(株)リアルデザイン ベッドの上で寝るだけで生体情報を測定 製品名「キャストベッド用生体情報センサー」</p>

デザイン活用

<p>空間デザイン工房 Piece Craft 「お菓子の家」のような作風で、安心できる空間を提供</p>	<p>今野印刷(株) ニューヨークなどの海外市場を狙った至高のグリーディングカード</p>	<p>(株)仙花/花告プロジェクト 花告プロジェクトと連動した、プレゼント用デザインパッケージ</p>	<p>仙臺しそ巻細川屋 和風モダンをコンセプトにした、高級ラインナップの統一パッケージ</p>
--	--	--	--

ICT

<p>アンデックス(株) 業務用スマートフォンを活用したハンディターミナル 製品名「SMART-Transport 3G」</p>	<p>(株)グッドツリー 電気の省エネ・省コストを狙った太陽光発電量シミュレーション 製品名「Good leaf」</p>	<p>Fandroid East Japan 脳波をつかって3種類の競技を行うゲーム。目指せ!脳波の達人! 製品名「脳波 SPORTS」</p>
--	--	---

SENDAI PAVILION の成果

今回のSENDAI PAVILION in 中小企業総合展 2011では、様々な取組みにより、約3,000名もの方々にご来場いただき、仙台の震災からの復旧・復興を全国に発信することができました。

さらに、SENDAI PAVILIONで行われたイベントや講演をUSTREAMを使いリアルタイムで発信した動画は、日本中の約3,000名の視聴者の方々にご覧いただきました。

また、来場者からのアンケートでは、「各企業の出展内容がとてもよかった。説明もとても丁寧だった。」「バビリオンのレイアウトがオシャレでステキですね!見やすくて良いと思いました。」「皆、がんばっていて、明るい。」など、SENDAI PAVILIONを高く評価するコメントが多数寄せられました。

出展企業の声

アンデックス (株)

当社からは、仙台のシステム会社(株)ブレインと共同開発した業務用スマートフォンを活用した物流管理システム「SMART-Transport 3G」を出展しました。

また、SENDAI PAVILION内にて講演する機会もいただき、当社と当社製品を全国にPRすることができました。このようなチャンスを設けていただいた事業団の皆様には、大変感謝するとともに、今後のご支援にも期待しております。



住所 仙台市青葉区中央 1-3-1 AER8 階
TEL 022-397-7988
URL <http://www.and-ex.co.jp>

空間デザイン工房 Piece Craft

Piece Craftは、仙台市を中心に世界にたった一つのオリジナル空間創りを行っている建築事務所です。SENDAI PAVILIONには、「自然素材仕様のオリジナルデザイン」をコンセプトにした『素朴な杉材とアンティーク塗装』仕様のカウンターと『流木とぬり壁』仕様の飾りたなを出展しました。

幕張メッセのような大きな展示会場で、私たちのオリジナルデザイン家具をPRできる機会は、そうあることではありません。このような貴重な場を用意していただきありがとうございました。



住所 仙台市宮城野区福室 2-6-45-506
TEL 022-259-6566
URL <http://piececraft7.com/>

空調企業 (株)

当社からは、自社製品の「電気を使わないサーキュレーター」「Wind Will(ウィンドウィル)」を出展しました。我々のような中小企業にとって、自社製品のPRをするために必要な展示会への出展経費は、決して軽いものではありません。

事業団が企画したSENDAI PAVILIONのように、公的支援機関が、中小企業と共に展示会に出展することは、非常に有意義であり、価値のある取組みであると感じております。ありがとうございました。



住所 仙台市宮城野区新田 4-37-44
TEL 022-239-7571
URL <http://www.ace-cl.jp/>

東日本大震災復興支援特別企画 ～手を繋ごう、杜の都と京の都～

開催日 平成23年12月8日（木）

開催場所 京都市リサーチパーク 東地区1号館4階（京都市下京区中堂寺南町134）

主催 京都市、NPO法人京都シニアベンチャークラブ連合会、（財）京都高度技術研究所

手を繋ごう、杜の都と京の都

本イベントは、京都市が中心となり、東日本大震災の復興支援事業の一環として実施されました。仙台地域の中小企業の復興支援に尽力している堀切川一男先生（東北大学大学院工学研究科教授・仙台市地域連携フェロー）による講演や、仙台地域の中小企業が、復旧・復興に取り組んだ具体的な事例を紹介するなど、震災から復旧・復興しつつある現状をアピールしました。

出展企業と製品（順不同）

（株）吉岡：ウッドピースエコテクノ、（株）リアルデザイン：キャスターベッド用生体情報センサー、空調企業（株）：Wind Will（ウィンドウィル）、（株）アースクリーン東北：スポットメガクール、（株）亀山鉄工所：多重偏芯型熱交換器e²-HEX（イーヘックス）、土地地質（株）：ハイデガス/ハイデクリート、磁化発電ラボ（株）：ABS用多極着磁装置、弘進ゴム（株）：シェフメイトグラスパー、（株）中村商店：安全足進（サンダル）

展示ブース

展示ブースでは、仙台地域のものづくり中小企業9社による商品の展示、ドクターホッキーによる産学連携成果品の展示、むすび丸による仙台地域の観光プロモーション、東日本大震災写真ギャラリーの4種の展示を行いました。

今回、参加していただいた、ものづくり中小企業のブースでは、商談も行われ、京都の企業や大学の先生などとのマッチングにつながったといった成果もありました。

ドクターホッキーによる産学連携成果品の展示では、堀切川先生が、これまで関わった産学連携から生まれた製品などを紹介し、その関わっている領域の広さや実績に多くの方々に関心を持っていました。



震災復興に関する講演

講演1 震災復興の大きな力～産学連携仙台堀切川モデル～

講師 堀切川 一男氏（東北大学大学院工学研究科教授・仙台市地域連携フェロー）

堀切川先生から、これまでの産学連携における支援事例を中心に、震災復興に向けて活動中の「仙台堀切川モデル」を紹介していただきました。

講演2 東日本大震災からの復旧・復興への道筋～高反射屋根材メーカー・（株）吉岡の奇跡～

講師 初谷 博氏（（株）吉岡 専務取締役）

東日本大震災において、多大なる被害を受けた仙台市宮城野区蒲生地区に本社を構えている（株）吉岡。津波の被害は本社の社屋や工場に及び、ほぼ壊滅状態となった状況から、多くの人々に支えられ、復旧に励み、わずか3カ月で事業再開まで至った取り組みを紹介していただきました。

出展企業の声

土地地質（株）

今回のイベントに参加し、これまででは繋がりが得ない方々に多く出会えました。実際に京都の大学の先生と繋がることができ、今後、産学連携の新たな可能性が広がったと感じています。また、こういった機会があったら、ぜひ参加させて頂きたいと考えています。

住所 仙台市泉区本田町13-31

TEL 022-375-2626

URL <http://www.geoce.co.jp/>





エコプロダクツ2011 「Green For All , All For Green ～日本発!エコの力で明日を変える～」

開催日時 平成23年12月15日(木)～17日(土) 10:00～18:00 [最終日は17:00まで]

開催場所 東京ビックサイト(東京都江東区有明3-11-1)

主催 (社)産業環境管理協会、日本経済新聞社

日本最大級の環境展示会

エコプロダクツは、日本最大級の環境に配慮した、より良い社会システムやライフスタイルの実現に向けた最新情報を発信する展示会です。13回目となった今回の出展社数は、752社・団体、3日間の総来場者数は、181,487人となり、企業や行政機関の担当者、家族連れ、学生といった様々な方が来訪されました。



復興に邁進する東北

今年度は、東日本大震災の復興に向けた取り組みを支援するため、主催者から、20小間の展示ブースが岩手県、宮城県、福島県の自治体及び環境関連企業に対して、無償提供されました。そのため、当事業団ではこの取り組みに賛同し、環境関連企業に対しての出展調整を行い、その環境関連の製品PR等を通じての環境への取り組みを強く発信しました。

出展企業(順不同)

- (株)アースクリーン東北
- 空調企業(株)
- (有)仙台昭和レーベル印刷
- (株)吉岡
- 匠ソリューションズ(株)
- (株)DSS
- トーカドエナジー(株)
- 東北電子工業(株)
- 東和工業(株)
- ナノテックヴァルト(株)



出展企業の声

(株)アースクリーン東北

今回の展示会だけでなく、複数の展示会に出展させて頂き、問合せなどを多く頂きました。来場者から関心を持ってもらえたことは、弊社の製品を評価してもらっている結果だと感じています。これからもこういった展示会に出展し、積極的に弊社のアピールを行っていきたいと思います。



住所 仙台市若林区伊在字東通13-1
TEL 022-288-2888
URL <http://www.earthclean.co.jp/>

(株)吉岡

これまでの展示会では触れ合うことのなかった人たちが、我々の屋根材に興味を持ってくれ、弊社の製品を知ってもらう場になりました。東日本大震災における被害は甚大でしたが、今後も、多くの方々に信頼を得られる企業として、努力していきたくて考えております。



住所 仙台市宮城野区蒲生字袋西の内第2-68-8
TEL 022-258-5121
URL <http://www.woodpiece.co.jp/>

仙台あおばスイーツ 「デビュー!チャリティマーケット」 & 「バレンタインマーケット」

仙台
あおば
スイーツ

SENDAI
AOBA
SWEETS

2/14 St.Valentine's day

「仙台あおば餃子」「仙台あおば冷やし」など、仙台市が農業の振興と地域経済の活性化を目的に、仙台産の農産物を使い商品化を行っている「仙台あおばシリーズ」。平成23年度は、“復興スイーツでみんなを笑顔に!”を合言葉に、市内菓子店・飲食店10ショップと仙台市、当事業団が協力して、22品の『仙台あおばスイーツ』を開発しました。

そのお披露目の場として、平成23年11月には「デビュー!チャリティマーケット」を、平成24年2月には「バレンタインマーケット」を開催し、各ショップのスタッフがお客様に旬のベジタブルスイーツと笑顔をお届けしました。

デビュー!チャリティマーケット

開催日	平成23年11月3日(木・祝)～6日(日)
開催場所	仙台なびつく情報ステーション(仙台市青葉区一番町4-4-35)
主催	仙台市、(財)仙台市産業振興事業団
共催	仙台市中心部商店街活性化プロジェクト 仙台なびつく情報ステーション
参加ショップ	太郎茶屋鎌倉 仙台上杉店、茶ろん もも、焼き菓子kocci by spica、西洋焼菓子 Le trésor、シュクレ・シュ克蘭、杜の都のチーズケーキ工房 yuzuki、40計画、Patisserie EPICE、フランス菓子 オランジュリー(順不同)



指定食材10品目(仙台曲がりねぎ、仙台白菜、パセリ、仙台セリ、雪菜、枝豆、大豆、ずいき、ルバーブ、米粉)を使った14品のスイーツを販売しました。また、売上の5%を復興のために仙台市に寄付しました。



バレンタインマーケット

開催日	平成24年2月10日(金)～14日(火)
開催場所	マルシェジャポン・センダイ(サンモール一番町商店街)(10日、11日)、各ショップ(12日～14日)
主催	仙台あおばスイーツ開発研究会(代表:太郎茶屋鎌倉 仙台上杉店)
協力	仙台市、(財)仙台市産業振興事業団
参加ショップ	太郎茶屋鎌倉 仙台上杉店、茶ろん もも、焼き菓子kocci by spica、西洋焼菓子 Le trésor、シュクレ・シュ克蘭、(株)ハミングバード・インターナショナル(順不同)



ちぢみほうれん草や雪菜、トマト、青ばたきな粉などの仙台産農産物を使った10品のバレンタインギフトを販売しました。開催にあたっては、各ショップが協力して開発研究会を作り、仙台市の「クリエイティブ・キャンペーン震災復興助成事業」の採択を受けました。

出展企業の声

西洋焼菓子 Le trésor

月4日店頭販売し、他の日はご予約にてお客様一人一人の為に、手作りで丁寧に焼き上げています。事業団の職員の方のご紹介で参加し、4品のスイーツを開発しました。店頭で実際にお客様の笑顔に触れ、とてもやりがいを感じました。



住所 仙台市泉区上谷刈5-19-14
TEL 022-739-7284
URL <http://letresor.petit.cc/>

旅するお菓子 シュクレ・シュ克蘭

フランス菓子をベースとした焼き菓子や、トルコ菓子バクラバを製造している工房です。「仙台あおばスイーツ」の趣旨に賛同し、3品のスイーツを開発しました。これらのスイーツを食べて、皆さまに元気になっていただけたら幸いです。



TEL 022-213-9255
URL <http://sucreshukran.blog39.fc2.com/>
販売先 ペチカ堂(仙台市青葉区一番町2-3-30 いろは横丁内)など



仙台エネルギーギッシュ 商店フェア

「自社製品の販売を通して仙台の復興を支えよう」を合言葉に、地域経済の復興と活性化を支援することを目的として開催しました。

知・技・食のコンセプトで、東日本大震災で大きなダメージを受けた中小企業等の皆様にオリジナリティの高い自社製品を展示・販売し、売上の5%を仙台市に寄付しました。

開催日	平成23年12月2日（金）～4日（日）
開催場所	仙台なびっく情報ステーション（仙台市青葉区一番町4-4-35）
主催	（財）仙台市産業振興事業団
共催	仙台市中心部活性化プロジェクト 仙台なびっく情報ステーション

12月2日（金） 知:クリエイティブday

（オープニングイベント）

海外の展示会で出展経験のある企業のコラボレーション展示・販売

出展者 ■ 今野印刷（株）、OGATA



12月3日（土） 技:デザインday

卓越した技やオリジナリティの高いアイデアを基に考案された製品の販売

出展者 ■ （株）熊野洞、（株）永勘染工場、ECRU、（有）武田製本所、
小野寺 穰 氏



12月4日（日） 食:フーズday

地元食材を使ったオリジナルのメニューなど、こだわりの食品を販売

出展者 ■ 仙臺しそ巻 細川屋、（有）ネルソンコーヒー、（株）海祥、
（有）プラネット、ポッケの森、杜乃都 天満屋、（有）趙さんの味
※企業名順不同



出展企業からの声

（有）趙さんの味

平成23年2月に新築したばかりの工場が津波によって流されてしまいました。現在は自宅で手づくりキムチを製造しておりますが、新しい工場の再建に向けて動き出しています。

今回のイベントがきっかけとして、少しでも多くの人たちにこだわりの逸品を味わっていただきたいと思います。



住所 仙台市宮城野区中野字牛小舎23-18
TEL 090-3982-7531

（有）武田製本所

当社が得意とする“箔押し（はくおし）技術”を使ってデザインを施した日記帳を販売しました。

これまでは、他社からの製本・箔押しの請負が中心で販売経験が無かったため、出展には不安もありましたが、日記帳や箔押しへの顧客の高い関心が確認でき、良いリサーチになったと手応えを感じています。



住所 仙台市若林区六丁の目西町1-31
TEL 022-288-7651

総合相談

経営に関する知識と経験豊富な当事業団の相談員やビジネス開発ディレクター等が、中小企業者や創業予定者等が抱える様々な経営課題や法律問題を解決するための相談に応じます。（無料）

※相談内容の秘密は厳守します。

窓口・電話相談

創業や融資のご相談から企業が抱える経営課題等、どのような些細な相談事でも構いませんので、お気軽にご利用ください。

日 時	毎週月曜日～金曜日（祝日、12月29日～1月3日を除く）8：30～17：00 ※混雑している場合、お待ちいただくことがありますので、なるべくお電話で予約のうえ来所願います。
場 所	（財）仙台市産業振興事業団
対象者	仙台市内の中小企業者等
応対者	当事業団の相談員
連絡先	022-724-1122

相談員



大林 ゆき子（月・火）

シニアアナリスト

ビジネスプランやマーケティング、Webビジネスなど、創業のヒントをアドバイスいたします。



鈴木 斎（月・水・金）

中小企業診断士

望ましい経営へ導くための支援をいたします。



遠藤 邦泰（水・木・金）

金融機関OB

創業や経営を資金調達面より助言いたします。



進藤 静雄（火・木）

商業施設士

店内レイアウトや店舗外装などハード面のアドバイスをいたします。

支援事例

ゴリラ食堂（飲食店）

相談者の声

お店のコンセプト、事業計画や資金繰りの考え方などについて、これまで一人では気付かなかったことを色々アドバイスしていただき、オーナーとしてのお店に対する考え方に影響を与えてもらいました。



住所 仙台市青葉区一番町1-6-22 シャンポール一番町B1F

TEL 022-748-7737

cake NAO（洋菓子店）

相談者の声

独立に向けて、開業資金を準備しましたが、運転資金に余裕を持って開業したいと考え、窓口相談を利用したところ、融資の選び方や申し込み方などを、丁寧に教えていただきました。



住所 仙台市青葉区中山1-11-5-101

TEL 022-277-7351

法律相談（予約制）

経営や創業等事業活動に伴う法律問題について、弁護士が法的な見地よりアドバイスします。

開催日	原則として、第3水曜日（祝日、12月29日～1月3日を除く）
場 所	（財）仙台市産業振興事業団
対象者	仙台市内の中小企業者等
応対者	当事業団で委託している弁護士
連絡先	022-724-1122（事前にお申し込みが必要です）

出前経営相談（予約制）

実績豊富なビジネス開発ディレクターが直接企業へ訪問し、課題解決の支援を行います。

日 時	毎週月曜日～金曜日（祝日、12月29日～1月3日を除く）8:30～17:00
場 所	依頼元の中小企業等
対象者	仙台市内の中小企業者等
応対者	当事業団のビジネス開発ディレクターなど
連絡先	022-724-1122

ビジネス開発ディレクター

専門的な知識と経験を活かし、地域中小企業の業績向上や業務の効率化等をサポートします。



青沼 泰彦

企業経営には様々な知識と技術、経験が要求されます。経営戦略の策定、販路開拓、業務改善、IT活用を中心に、経営の幅広い分野について、20年のキャリアに基づいた独自の理論と実践の両面から支援いたします。



板橋 良直

数理統計学を応用した「需要の科学的な予測モデル」を活用し、成果予測を前提とする「科学的な戦略設計と執行支援」を実施しております。市場のサーベイと分析から、競争優位の高い事業設計、市場テストなどお気軽にご相談ください。



大志田 典明

小売業、製造業、飲食サービスを中心に、マーケットニーズを活用した商品開発、売場づくりとリピート販促の仕組みを専門にお手伝いします。事前リサーチやテストマーケティングの手法など具体的なご相談もお気軽にどうぞ。

支援事例

（株）ハミングバード・インターナショナル（飲食店）

支援内容

仙台市内で飲食店9店舗を運営する同社から、「自社が経営する焼き肉店では、お客様に対して、高品質のメニューをご提供しておりますが、顧客サービスの質も高めていきたいと考えております。」という、企業価値拡大のご依頼を受け、当事業団からはCRM(customer relationship management)による手法を提案しました。また、CRMの基礎となる購買履歴に基づく顧客分析の方法や顧客への具体的なアクションプランの設計についても併せてアドバイスしました。

相談者の声

事業団から、「お客様の満足度を高める要因の分析技法や具体的なアクションの実施方法」をアドバイスいただき、会員システムを起ち上げ、プレミアム感の高い会員カードを2011年10月に発行しました。まだ、このシステムはテスト運用の段階ですが、既存の会員様に新規のお客様をご紹介いただく「増客・来店率拡大システム」として、その効果を実感しているところです。これを機に、更に顧客サービスの質の向上に向け、努めてまいりますと考えております。



住 所 仙台市青葉区本町2-6-16 TEL 022-225-0522 URL <http://www.h-bird.co.jp/>

中小企業経営診断事業

経営課題を解決したい仙台市内の中小企業者等に対して、当事業団に登録を行っている知識や経験が豊富な専門家を派遣し課題解決の支援を行っています。課題の解決はもちろんのこと、企業の強みを生み出すきっかけを作り、総合的に経営改善のサポートをいたします。

概要

対象者	仙台市内の中小企業者等
支援内容	①経営課題の把握 ②課題に合った専門家の派遣
利用料	専門家の派遣1回につき10,000円をご負担いただきます。(ただし、遠方の専門家の場合、旅費の1/3を別途ご負担いただきます。)
申込方法	所定の申請書(当事業団ホームページからダウンロードできます)をご提出ください。

事例紹介

- 業務の生産性、収益性の改善が課題であった市内のIT企業に対して、業務改善の専門家を派遣し、クラウドサービスを用いた業務の効率化をアドバイスしました。
- 顧客管理の課題を抱える市内の喫茶店に対して、IT活用の専門家を派遣し、データベースを用いた顧客管理の仕方と顧客への情報発信についてアドバイスしました。

支援事例

(株) ケンオート

支援内容

自動車整備と中古車販売を行なっている同社は、顧客の絞込みを行いユーザー特化の特定車種の専門店として、事業展開を図ろうとしていました。特定のユーザーを取り込むために情報発信に力を入れる必要があったため、IT活用の専門家を派遣して有効な情報発信手法についての助言を行いました。

利用者の声

マツダのスポーツカーである「ロードスター」の専門店化を図るためにアドバイスをいただきました。フェイスブックやツイッターを駆使し、タイムリーな情報発信とホームページの全面リニューアルによって、「ロードスター」に特化した問い合わせが入るようになり、今後も問い合わせ件数の増加が期待できそうです。



住所 仙台市宮城野区福田町南1-10-33 **TEL** 022-797-4611 **URL** <http://www.ken-auto.jp/>

(株) 仙台かき徳

支援内容

生かき等の海産物の販売や飲食店の経営等を行っていた同社は、震災により原材料の仕入れにダメージを受けたため、商品力の強化が課題でした。今までの商品のノウハウを活かした新商品開発のためにフードコーディネーターを派遣し、商品づくりのサポートを行いました。

利用者の声

当社は、東日本大震災の影響から、仕入れ先の変更や飲食部門の休止など全体的な経営戦略の変更を余儀なくされました。商品力の強化を図るうえで、主力となる商品の開発を事業団の専門家に依頼しました。今後はこの商品の販路拡大を目指していきます。



住所 仙台市青葉区一番町4-9-1 **TEL** 022-222-0785 **URL** <http://www.kakitoku.co.jp/>

ハンズオン支援

この事業は、中小企業者等が創業期やスタートアップ期に抱える種々の経営課題に対して、当事業団のビジネス開発ディレクター等で構成された支援チームで対応することなどが特徴で、経営の早期安定化を図ることをねらいとしています。

今年度は、震災復興の観点から、支援対象者については、創業予定者（創業後間もない中小企業者等を含む。）の他に、東日本大震災で被災した中小企業者等も対象者に加え支援を行いました。

概要

対象者 仙台市内での創業予定者（スタートアップ期の中小企業者等を含む）

支援内容 ①支援チームによる定期的・継続的なアドバイス
②専門的な知識を持ったアドバイザーの派遣
③販売促進ツールの作成等業務委託に係る経費の補助

利用料 無料 ただし、上記③の支援の場合、経費の1/3を別途ご負担いただきます。

申込方法 所定の申込書等をご提出ください。書類選考等を行い、支援企業を決定いたします。



事例紹介

- 震災で被災し、新規業態で飲食店を創業する事業者に対して、顧客ニーズ調査とその活用方法、メニュー開発、販売促進についてアドバイスを行いました。また、専門家を派遣してWEB販促について助言も行いました。
- パン製造小売業を創業し、スタートアップ期にある中小企業者に対して、支援チームと専門家が新規顧客獲得のための販売促進や店舗ファザード・店内演出改善、リピート率向上のための仕組みづくりについて助言を行いました。
- 震災により工場が被災した食品製造業者に対して、支援チームと専門家が事業復興のための新規顧客開拓に係るWEBショップ構築や販促ツール作成支援、商品展開について助言を行いました。

支援事例

今野印刷（株）

支援内容

海外のグリーティングカード市場への参入を目指す同社は、年賀状印刷の経験で培ったデザイン提案力を強みとする一方、国際ビジネスの経験が少ないことから、ハンズオン支援を実施しました。

英語でのコミュニケーションやメッセージの記載方法のアドバイスだけでなく、4名の在仙外国人にもご協力いただきフォーカスグループミーティングの実施をサポートするなど、同社の開発品が海外のエンドユーザーの嗜好に合致するかどうかのマーケティング調査等の支援を行いました。

利用者からの声

事業団のスタッフによる支援を受け、少しずつ現地のニーズに合う商品を提案できるようになってきたと実感しています。まだまだ課題山積ですが、震災で加速した国内マーケット縮小を本事業で打開すべく、今後もチャレンジしていきたいと思っています。



住所 仙台市若林区六丁の目西町2-10 **TEL** 022-288-6123 **URL** <http://www.konp.jp/>

創業者支援セミナー



仙台市内での創業予定者や創業して間もない中小企業者等を対象に、起業家セミナーや開業塾等の開催、定期的なフォローアップによる経営アドバイス、適切な施策の紹介を行い、創業の実現、創業後の成長・発展を支援します。(有料)

起業家セミナー（ビジネスチャレンジ編）

創業の全体像や経営者としての心構えなど、創業準備に必要な内容を網羅的にお伝えするセミナーです。

対象者 仙台市内で創業を予定する方

開催実績

「起業成功の条件」

開催日時 平成23年7月1日（金） 18:30～21:30
開催場所 AER6階 情報・産業プラザ セミナールーム（2）A
講師 （有）インタープレフ・マネジメント 代表取締役 宇治川 一清 氏



講師の日野先生

「成功する起業には“ワケ”がある」

開催日時 平成23年12月2日（金） 18:30～21:30
開催場所 AER6階 情報・産業プラザ セミナールーム（2）A
講師 MORE経営コンサルティング（株） 代表取締役所長 日野 眞明 氏

受講者の声

創業へのきっかけづくりのため、このセミナーに参加しました。創業に関して色々興味はあるものの、何から始めて良いのかよく分かりませんでした。現時点で考えなければならないことや自分に不足している部分が見えてきたので、一歩踏み出してみようと思いました。

起業家セミナー（ビジネスブラッシュアップ編）

講義とビジネスプランを作成するワークを通して、事業アイデアを整理し、実現に近づくようブラッシュアップするセミナーです。

対象者 概ね1年以内に仙台市内で創業する予定があり、業種や業態が決まっている方

開催実績

「夢をカタチに！ビジネスプラン作成セミナー」

開催日時 平成23年7月27日（水）、8月3日（水） 14:00～17:00
開催場所 （財）仙台市産業振興事業団 会議室
講師 （財）仙台市産業振興事業団 ビジネス開発ディレクター 青沼 泰彦 氏



「ユメ実現への第一歩!ビジネスプラン作成セミナー」

開催日時 平成24年1月12日（木）、19日（木）、26日（木） 14:00～17:00
開催場所 （財）仙台市産業振興事業団 会議室
講師 （財）仙台市産業振興事業団 ビジネス開発ディレクター 青沼 泰彦 氏

受講者の声

このセミナーに参加することで集中してビジネスプランを練ることができました。漠然としたイメージであったことを実際に文字や数字に書いてみると、自分の考えや計画の甘さに気づかされ、また新しいアイデアや課題も見えてきて、とても勉強になりました。

開業塾

各業種に特化した内容で、仕入れ・販売・市場・立地調査・販路開拓・販売促進などのノウハウをお伝えします。

対象者 概ね1年以内に仙台市内で創業する予定があり、開業費用の1/3程度の自己資金を準備できている方

開催実績

「飲食店開業講座」

開催日時 平成23年9月8日(木)、9日(金)、15日(木)、16日(金)
14:00～17:00

開催場所 (財) 仙台市産業振興事業団 会議室

講師 (株) コロンブスのたまご コンサルタントリーダー 永澤 洋一 氏



講師の高橋先生

「カフェ開業講座」

開催日時 平成23年10月6日(木)、7日(金)、13日(木)、14日(金)
14:00～17:00

開催場所 (財) 仙台市産業振興事業団 会議室

講師 カフェズ・キッチン佐奈栄学園 学園長 富田 佐奈栄 氏
コムスペース(株) 代表取締役 中川 恵介 氏

「存在価値で負けない小売店開業講座」

開催日時 平成24年2月9日(木)、10日(金)、16日(木)、17日(金) 14:00～17:00

開催場所 (財) 仙台市産業振興事業団 会議室

講師 (有) 高橋幸司の事務所 取締役社長 高橋 幸司 氏

開業フォローアップセミナー

開業後に必要となる様々な実践的なノウハウを身につけるスキルアップセミナーです。

対象者 創業後間もない中小企業者等

開催実績

「接客向上講座」

開催日時 平成23年11月10日(木) 14:00～17:00

開催場所 (財) 仙台市産業振興事業団 会議室

講師 (株) コロンブスのたまご 城尾 未希子 氏



講師の城尾先生

「魅せる商品撮影講座」

開催日時 平成24年2月29日(水)、3月2日(金) 14:00～17:00

開催場所 (財) 仙台市産業振興事業団 会議室

講師 フォトクーラント 代表 兼子 貢紀弘 氏

「魅せるPOP作成講座」

開催日時 平成24年3月6日(火) 13:00～16:00

開催場所 (財) 仙台市産業振興事業団 会議室

講師 (株) 船井総合研究所 主任 井口 裕子 氏

受講者の声

現場サイドでの話を聞けて、大変参考になりました。

自分の店を持つという意欲、楽しみも増えましたが、しっかり取り組んでいかなければという思いも、一層強くなりました。

改めて気づかされたことや、実際の接客の中でできていなかった反省点も見えてきたので、とても実のあるセミナーでした。

経営革新セミナー



中小企業を取り巻く経営環境は、新技術の登場や顧客の価値観・ライフスタイルの多様化などにより目まぐるしく変化しており、これに対応できる人材育成が急務となっています。このような状況下において、中小企業者等を対象にセミナー等を開催し、中小企業が抱える諸課題解決のためのヒントなどを提供し、経営革新を支援します。(有料)

開催実績

新規顧客開拓セミナー「顧客のハートを射止めるDMの作成と活用～震災で失われた顧客を取り戻そう!～」

開催日時 平成23年10月27日(木) 14:00～17:00

開催場所 (財) 仙台市産業振興事業団 会議室

講師 ダイレクトメール推進協議会 専任講師 守誠 氏



- 近年、日本の広告で発信される情報量は、毎年約1.5倍のペースで増え続け、約88%の情報は伝達されずに終わっています。この状況を踏まえ、DM発送に当たっても、戦略的、計画的に情報発信することが重要です。
- 冬商戦でのDM活用法としては、新年の挨拶を兼ねた年賀ハガキが有効。お年玉付きのため捨てられにくく、またハガキの番号を活用し自店独自の当選番号を設定し、来店を促す活用事例もあります。店舗オーナーの顔写真掲載等により、「人」から「人」に伝える作りこみを意識することがポイントです。

インターネットを活用した集客力アップセミナー～Googleのウェブサービス活用事例の紹介～

開催日時 平成23年11月11日(金) 14:00～17:00

開催場所 (財) 仙台市産業振興事業団 会議室

講師 グーグル(株) シニアマーケティングマネージャー 根来 香里 氏
マーケティングマネージャー 清水 一浩 氏
インターネット・アカデミー 広報 花井 瑞穂 氏



- 各県の企業ウェブサイト保有率と、従業員一人当たりの売上高には明確な相関関係があります。インターネットを活用した情報発信力向上は、地域経済発展にもつながるものです。
- パソコンからの検索の約30%、モバイル端末からの検索では約50%が場所に関する検索です。従って、Googleの無料サービスであるGoogleプレイスに自社の画像や動画を掲載するなど機能を効果的に活用すれば、費用を一切かけずに自社・自店への来店促進が可能となります。

災害リスクマネジメントセミナー～事業継続計画策定後に被災した企業事例に学ぶ～

開催日時 平成24年2月2日(木) 14:00～17:00

開催場所 (財) 仙台市産業振興事業団 会議室

講師 (株) オイルプラントナトリ 環境推進マネージャー 加賀谷 秀樹 氏



当社は、BCP(事業継続計画)策定約40日後に震災に見舞われました。当社のBCPは、地震規模をマグニチュード8まで、津波は公的機関で行った想定に基づき自社に到達しないという前提で作成していたので、震災による影響は想定を遥かに超えるものとなってしまった。しかし、優先して復旧すべき中核事業を決めていたこと、災害に備え、他地域の同業他社と協力関係を築いていたことにより、早期の事業再開につながりました。

講師 (株) フォーサイトコンサルティング 代表取締役 浅野 睦 氏

- 震災では、情報関連の機能不全が問題となり、今後もリスクの高い領域です。これを補う安否確認システム等の導入も対策としてはありますが、基本的に、“情報は断絶している”という前提で対策を講じるべきです。
- 個々の社員に、帰宅・参集のいずれの指示を出すかを事前に決めることが必要です。そのためには、要介護者・乳児の有無等社員の家族構成の考慮が必要ですが、それにより社員の家族の会社に対する信頼向上にもつながります。災害リスク対策は、「企業の信頼向上活動」と位置付けるべきです。



仙台エネルギーギッシュ 企業チャンネル

震災後、当事業団ホームページに“仙台エネルギーギッシュ企業チャンネル”を設置しました。

被災しながらも一歩ずつ復興を進める企業、被災者救済のための社会貢献活動を行う企業、震災後の混沌とした状況の中で開業した店舗等々、地域経済の復興に向け、エネルギーギッシュに活動する地域企業の取り組みや製品を動画で随時紹介しています。

仙台エネルギーギッシュ企業チャンネルURL

http://www.siip.city.sendai.jp/cb_shinjigyo/enechannel.html

掲載中の中小企業

うす皮たい焼き 鯛さち、(株) オプス、(株) 花兄園、(株) 金久商店、米工房いわい、たらこ cafe、パン工房 プティ・シアン、midorika (ミドリカ)、杜乃都 天満屋 (H24.2月現在)

例えばこんな事例を動画で紹介しています

(株) 花兄園 (鶏卵及び鶏卵加工品などの販売)

(株) 花兄園は、鶏の飼育方法からこだわりぬいた鶏卵と、その卵を使用したプリンやシフォンケーキ、マヨネーズなどを製造販売しています。

福島県大熊町の養鶏場が、原発事故により立入不可となるなど、震災により大きなダメージを受けながらも、根強いリピーターの支持を受け、着実に復興を進める同社のこだわりをご紹介します。

住所 仙台市太白区西の平1-1-3 **TEL** 022-244-3441
URL <http://kakeien.com/>



杜乃都 天満屋 (本場仙台味噌漬け専門店)

こだわりの仙台味噌を使用した本場仙台味噌漬けの専門店として、山野菜・魚貝類・豚肉等豊富なラインナップを展開する杜乃都 天満屋。メイン商材であった魚貝類の味噌漬けを製造する石巻市や南三陸町の契約工場が被災するも、復興に向け着実に前進する同社の取り組みを紹介します。

住所 仙台市若林区南小泉4-7-10 **TEL** 022-286-0981
URL <http://www.morinomiyako-tenmaya.com/>



(株) オプス (総合ビルメンテナンス業)

震災直後、避難所で生活する皆さんの衛生面を心配した(株) オプスが、建物の衛生管理会社としてのノウハウを活かし、当時400名の被災された方々が避難していた仙台市立岡田小学校を無償で清掃や抗菌処理を施工しました。

避難者のみならず、被災児童の学習環境を心配する先生方からも大変喜ばれました。

住所 仙台市青葉区小田原5-1-45 **TEL** 022-722-9901
URL <http://www.opus-gr.com/>



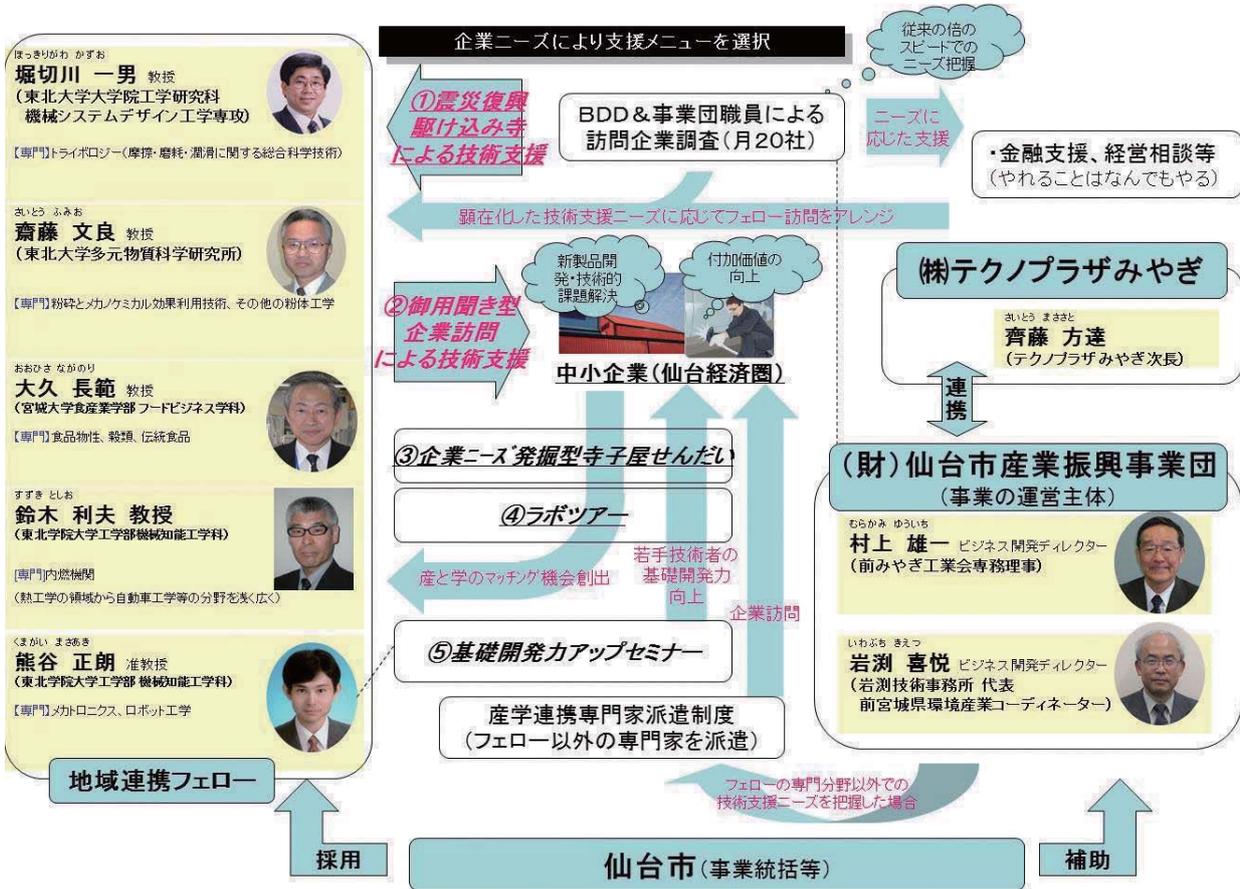
御用聞き型企業訪問事業 (震災復興版)



震災以降直ちに、ビジネス開発ディレクターと当事業団職員が地域企業を精力的に訪問し、被災状況や復旧状況等の把握を行い、地域企業の復旧段階及び個々の企業の実情に合わせた、これまでの枠組みにとらわれないスピーディな支援が求められました。

このため、東日本大震災から立ち上がる仙台都市圏の企業を総合的に支援するため、「これまでの倍以上のスピードで日々変わる企業のニーズ（困りごと）を把握」し、新たな支援メニューを加え、従来の枠組みにとらわれずに「地域企業のためにできることをなんでもやる」体制へ移行し、「御用聞き型企業訪問事業（震災復興版）」を定め、新たな支援メニューをスタートさせました。

復興支援型・御用聞き型企業訪問（平成23年度）



平成23年度の支援企業数(販路開拓分を除く)

支援企業数	支援回数
211件	376回

平成24年1月末 速報値

(参考) 御用聞き型企業訪問(平成16年度スタート時から平成22年度までの累積)

支援企業数	支援回数
394件	515回

御用聞き型企業訪問

ビジネス開発ディレクターと当事業団職員が、月20社以上のスピードで地域企業を訪問し、地域企業のニーズ（困りごと）を確認しました。その上で、別途、地域連携フェローによる御用聞き型企業訪問等を行いました。

震災復興駆け込み寺（企業相談）

震災以前は、御用聞き型企業訪問で訪問した企業の課題等について、企業が課題解決等を希望した場合に、その企業を地域連携フェローの研究室にお連れしていました。

震災後は、御用聞き型企業訪問の訪問した企業ではなくても、困りごとのある企業をビジネス開発ディレクターや当事業団職員が、地域連携フェローの研究室にお連れしました。震災復興のため、共同研究や開発案件に限らず、企業が相談したい事については、何でも対応しました。

ラボツアー

地域企業向けに、大学教授等の研究室や公的研究機関等を訪問するラボツアーを開催しました。大学教授等からの説明を受け、実際に試験装置等を見学しながら、大学等研究機関との連携を模索する場を提供し、産学連携による地域企業の開発を支援しました。

開催日 平成23年8月25日（木）

訪問先研究室 東北大学金属材料研究所 千葉晶彦 教授

開催場所 東北大学金属材料研究所 COE棟2階 第一セミナー室

内容 電子ビーム積層造形システム：Electron Beam Melting（EBM）の説明及び装置の見学

電子ビーム積層造形システム（EBM）とは、電子ビームにより高速で金属粉末を溶解し、凝固させて金属部品を作製する技術です。医療産業、航空宇宙産業及び自動車産業等と応用分野（産業分野）が広く、特に強度や耐熱性を必要とする部品、形状が複雑な部品等を短時間で作製する事ができる装置等をご紹介します。



若手技術者の基礎開発力アップセミナー

若手技術者が仕事帰りに参加できる幅広いテーマの入門セミナーとして、「ロボット博士の基礎からのメカトロニクスセミナー」を熊谷正朗先生（東北学院大学工学部機械知能工学科准教授・仙台市地域連携フェロー）を講師として開催しました。

開催場所 （財）仙台市産業振興事業団 会議室

URL http://www.siip.city.sendai.jp/cb_shinjigyo/mechatronics_seminar.html

回数	開催日	内容
第3回	平成23年 8月30日（火）	デジタルの基礎
第4回	平成23年 9月20日（火）	アナログ信号の基礎
第5回	平成23年10月18日（火）	アナログ信号のコンピュータへの取り込み
第6回	平成23年11月29日（火）	センサの基礎
第7回	平成23年12月20日（火）	センサ信号の処理の基礎
第8回	平成24年 1月24日（火）	モータの基礎
第9回	平成24年 2月21日（火）	制御の基礎

地域の若手技術者同士のネットワーク形成を支援すると共に、参加者が深掘りしたい内容をテーマとし、熊谷先生が、「同業者ではないエンジニア」・「技術開発の社外セカンドオピニオン」としてアドバイスを行いました。非専門家のための入門編という位置付けで、メカから組み込みソフトまで幅広く技術「雑学」を提供しました。



寺子屋せんだい (産学連携セミナー)



対象者 地域企業の技術者

開催場所 (財) 仙台市産業振興事業団 会議室

受講料 1,000円

URL http://www.siip.city.sendai.jp/cb_shinjigyo/terakoya.html

「寺子屋せんだい」とは、各専門分野で高度な知見を有している大学教授等を講師としてお招きし、産学連携に繋がる研究成果等について、セミナー形式で地域企業の皆様に分かりやすく話題提供を行う事業です。セミナー後には講師を交えた情報交換会を行っておりますので、講師との繋がりだけでなく、参加者同士の情報交換の場として活用することもでき、毎回多くの方にご参加いただいております。

震災復興版

今年度の「寺子屋せんだい」では、震災復興版として、大学教授等の講演テーマを震災復興の支援に関する内容に絞って開催しました。また、地域企業の特に関心が高いテーマや分野については、大学等の教員以外の講演として番外編を開催しました。

開催実績

番外編

開催日 平成23年7月22日(金)

演題 夏場の電力需給対策の背景と電気料金低減に向けた電力需要抑制への取り組み

講師 東北電力(株) お客さま本部お客さま提案部 鈴木一夫 課長 平渡一彦 課長



第66回

開催日 平成23年10月7日(金)

演題 ヘドロの有効利用について～東日本大震災の津波で発生したヘドロを使って地盤材料を作る～

講師 東北大学大学院環境科学研究科 高橋 弘 教授



第67回

開催日 平成23年12月2日(金)

演題 地域水産物の養殖化～東日本大震災にも負けない海産物を作ろう～

講師 石巻専修大学理工学部生物生産工学科 鈴木英勝 准教授



第68回

開催日 平成24年1月17日(火)

演題 コンテナ炭焼き窯による瓦礫木材の炭化処理

講師 放送大学宮城学習センター 高橋礼二郎 客員教授



第69回

開催日 平成24年2月24日(金)

演題 東北漁業のこれから

講師 東北大学大学院農学研究科 片山知史 教授

第70回

開催日 平成24年3月16日(金) (予定)

演題 地震による地盤災害: 現象と予防

講師 東北学院大学工学部環境建設工学科 吉田望 教授



Wellbeing研究会

開催日	2ヶ月に1回程度
開催場所	仙台フィンランド健康福祉センター研究開発館
講師	毎回異なる講師をお呼びしています

仙台フィンランド健康福祉センター研究開発館では、「Wellbeing研究会」と題し、フィンランドをはじめとする北欧の福祉制度や日本における福祉のあり方、高齢者介護、健康福祉分野でのビジネス等に関する研究会を実施しております。平成23年度は、震災時の対応等に関連する内容も取り入れ、5回実施しました。毎回、健康福祉分野の機器・サービスを開発する企業関係者や医療・介護従事者に数多くご参加いただいております。

開催実績

デジタルヘルスケアの展望と応用～Continua (コンティニュー) で繋ぐ医療、健康管理の震災支援～

開催日 平成23年8月10日 (水)

「Continua・Health・Allianceの取り組み」 インテル (株) 事業開発本部 デジタルヘルス事業部 事業開発部長 田上信介 氏
「医療・健康ICTを活用した災害地医療支援」 (株) エー・アンド・デイメディカル 事業推進部 部長 尾崎忍 氏
「ヘルスケア分野でのNFC応用」 トッパンフォームズ (株) 情報メディア事業部 ITソリューション本部ビジネス開発部 担当課長 林茂雄 氏
「南三陸町震災支援での弊社役割について クラウドデータサーバ」 菱洋エレクトロ (株) 市場開拓プロジェクト 主幹 山本浩久 氏

在宅医療から見えるものと、今、民間が担う保健・医療・福祉事業

開催日 平成23年10月14日 (金)

「在宅療養支援診療所としての当院の取り組み」 医療法人曙公会 理事長 及川信哉 氏
「地域包括ケアシステムの構築と民間シルバーサービスの可能性」 (社) シルバーサービス振興会 総務・企画部長 久留善武 氏

地域包括ケアが目指す在宅介護・在宅看護のシームレスな連携

開催日 平成23年11月10日 (木)

「2025年の介護はこうなる!? 地域包括ケアがめざすもの」 (株) ウエルビー代表取締役 青木正人 氏
「在宅ケアの充実を目指して」 全国訪問ボランティアナースの会キャンパス代表 菅原由美 氏

在宅医療における課題とリハビリテーション

開催日 平成23年12月6日 (火)

「在宅医療における褥瘡対策～ラップ療法を中心に解説～」 大崎市民病院鹿島台分院 内科診療部長 鳥谷部俊一 氏
「新しい移動機器・足こぎ車いすの展開」 東北大学大学院医学系研究科客員教授 学校法人菅原学園 仙台保健福祉専門学校校長 半田康延 氏

日本の人口成熟と福祉産業の可能性

開催日 平成24年2月17日 (金)

(株) 日本総合研究所調査部主席研究員 藻谷浩介 氏

Wellbeing研究会に関するお問い合わせ

FWBC 推進本部 FWBC 推進室
仙台フィンランド健康福祉センター研究開発館

〒981-0962 仙台市青葉区水の森3-24-1
Tel ■ 022-303-2666 Fax ■ 022-303-2667
Website ■ <http://sendai.fwbc.jp/>
Email ■ rdunit@sendai.fwbc.jp

健康維持活動への協力参加

シニア元気あっぷ青空運動教室

開催概要

開催日	平成23年6月14日～11月22日 火曜日および金曜日（雨天中止）
開催場所	勾当台公園 野外音楽堂（仙台市青葉区本町3）
主催	（財）仙台市健康福祉事業団、仙台市健康増進センター

相互に支える運動教室

震災後、各施設が復旧・修復作業に追われる中、身体活動低下の予防や健康づくりを目的に、シニア向け運動教室が青空のもと実施されました。運営にあたっては、仙台市健康増進センターが育成した「健康づくり運動サポーター」が主体となりました。約5ヶ月13回に渡り実施し、累計1,311名のシニアが健康づくりのため集いました。

当事業団のコーディネートにより、7月20日には（株）TESSの足漕ぎ車椅子の試乗体験会も実施され、多くの方が新しい乗り物を楽しみました。現在、健康福祉事業団仙台市シルバーセンターでは、震災前同様、高齢者向け運動教室（登録制）を定期的を開催するとともに、仮設住宅や被災者の居住する地域集会所などで、シニアの活動的な生活づくりと健康づくりをサポートしており、当事業団では、その取組みに積極的に協力しております。



SKY（仙台介護予防）大作戦

開催概要

開催日時	平成24年11月23日 9:30～15:30
開催場所	仙台市シルバーセンター（仙台市青葉区花京院1-3-2）
主催	仙台市、（財）仙台市健康福祉事業団



世代をつなぐ笑顔の絆

当事業団では、本年度で3回目となるSKY大作戦に協力団体としてブース出展をしました。1Fアトリウムでは、「外出支援」をテーマとして、（株）インターサポート及び（株）旅日記から旅の相談コーナー、（株）TESSによる足こぎ車椅子のパフォーマンスと体験コーナー、そしてアトリエ.AKIKOによるユニバーサルデザインウェアの展示を行いました。

3Fでは（株）クララケア・サポートを初め協力企業4社による安心グッズ展示コーナーとして主に軽尿失禁に関する商品展示と相談コーナーを設置しました。

各コーナーとも多くの方にご来場いただきました。





フィンランドからの支援

当事業団は、FWBCプロジェクトを通じてフィンランドと協力関係にあり、震災直後から、物心両面で多くの支援をフィンランドからいただきました。ここにいくつかその例をご紹介します。

見舞状、義援金、慰問

震災の翌週に、フィンプロ（フィンランド貿易局）とビジネスオウル（フィンランド・オウル市）から、当事業団宛に見舞状をいただきました。また、オウル市からは、仙台市宛に総額10万ユーロ（約1000万円）の義援金と寄付金が寄せられています。この義援金によりフィンランド製木材を使用したテーブルとイスを仮設住宅に贈ることができました。



10月には、FWBCコンソーシアム・ミーティング出席のため来仙したフィンプロのハイリネン総裁とオウル市のサロ副市長（研究開発館館長として2005－2007年に在仙）が、被災地を視察し、仮設住宅を慰問しました。

フィンランド大使館からの支援

6月13－14日に、グスタフソン駐日大使が来仙し、フィンランド・カラヨキ市の児童から送られた手作りのメッセージ付こいのぼりを仙台市に寄贈しました。このこいのぼりは、津波の被害を受けた市立中野栄小学校に飾られました。



また、8月3日には、大使館、在日フィンランド商工会議所主催のムーミン・チャリティーイベントがのびすく仙台で開催され、フィンランドからやってきたムーミンとリトルミイが児童と交流しました。

アレクサンデル・ストゥブ欧州・貿易大臣と手話のフィンランド人ヒップホップアーティスト来仙

11月28日には、フィンランドのアレクサンデル・ストゥブ欧州・貿易大臣が来仙して被災地を視察した他、同行した聾のミュージシャン、サインマークが、仙台市福祉プラザで手話によるヒップホップコンサートを開催しました。

フィンランド製ミルク

日本では、乳児用ミルクというと粉ミルクが主流ですが、フィンランドでは日本の牛乳のようなパック入りの液状ミルクが普及しています。震災により水道が利用できなくなった地域では、粉ミルクを溶かす水にも不自由していました。その状況を聞いたヨーロッパ在住の日本人が中心となり、フィンランド航空の全面的な協力のもと、フィンランド製ミルクが被災地のお母さんたちに送られました。研究開発館でも、4月から5月にかけて、各地へ送られるまでの間、フィンランド製ミルク約10,000パックの保管に協力しました。



ジョブ・トライアル (若年求職者就業体験研修)

ジョブ・トライアルとは・・・

学生・若年求職者を採用予定のある企業等に受け入れていただき、仕事体験研修を行う地域的な取り組みです。

ジョブ・トライアルが目指すもの

- 事業復興に向けた人材発掘
- 社内活性化や社員の育成
- 若年者の職業観を高めるとともに、業種職種の視野を広げる
- 他地域への人材流出、早期離職などの雇用のミスマッチへの対策

今年度においては、震災の影響により、平成24年3月卒業者等の採用を予定する企業にご参加いただけるとか懸念しておりましたが、結果として、震災復興に向けて、尽力する20社にご参加いただくことができました。

23年度 ジョブ・トライアル 開催のようす

7月 事前研修&事業所との交流会

開催日時 平成23年7月19日(火)～20日(水) 10:00～17:00

開催場所 AER6階 情報・産業プラザ

参加者 25名

参加事業所 20社



社会のしくみや業種職種についての理解を深め、さらにコミュニケーショントレーニングとしてディベートに挑戦しました。

午後は、参加者と事業所の交流会が行われ、紙面の企業情報のみでは伝わりきれない社風や会社・仕事への想いを熱く語る経営者と、真剣なまなざしで傾聴する参加者によって、有意義な交流の場となりました。

8月 合同面接会

開催日時 平成23年8月4日(木) 13:15～16:30

開催場所 ハーネル仙台(仙台市青葉区本町2-12-7)

事業所と参加者の面接および希望調査を踏まえたマッチングにより、研修先が決定します。

希望の事業所への研修が決まると、緊張がほぐれ、安堵の笑みを浮かべる参加者や思わずガッツポーズの姿も見えました。



8～9月 事業所にて仕事体験研修

研修期間 8月中旬～9月末(最大10日間)

受入事業所 10社

研修者 19名

●宮城県中小企業家同友会さんにて、研修生発表より

「人と接することが苦手で引っ込み思案でしたが、『今からでも僕は変われるでしょうか?』と、ある社長さんに聞いたら、『その気持ちがあればきっと変わるよ』と力強く言って下さり、元気と勇気が出ました。」



●（株）ヴィ・クルーさんにて、研修生発表より

「一緒に事業の企画提案に取り組み、お世話になった先輩社員さんは、とても行動力と頼りがいのある方で、私もそうなりたと思いました！」



●仙台通信機器（株）さんにて、研修生発表より

「営業の仕事には、社内外問わず人との関わりや信頼関係が大事だということをも身をもって学ぶことができました。」



研修先の事業所に採用されたという嬉しいご報告もいただいております。

※仙台市の「せんだい若者向けポータルサイト」に、ジョブ・トライアルが紹介されました!

10月 研修報告会

開催日時 平成23年10月18日（火） 10:00～12:00

開催場所 (財) 仙台市産業振興事業団 会議室



受入れ事業所による情報交換会では、ジョブ・トライアルの意義と必要性を再確認すると共に、次年度に繋がるフィードバックをいただきました。その後の、研修修了者と事業所を交えての報告会では、研修で学び考えたことを振り返り、それぞれが今後に向けての思いを発表に込めました。

研修生の声

- 今回の研修で、私は責任感というものを強く学びました。研修中に担当の方から「仕事は一人でやっているんじゃない。一人が遅れると会社全体、お客様にも大変迷惑がかかる」と言われ、私は、まだ学生だからという理由で、自分の持っている責任感があまりないことに気づきました。この研修を通して自分に足りない責任感をこれからは今まで以上に強くしてこうと思います。
- 事前研修から個別相談、研修後のフォローをしていただいて、就職活動に対して内定が取れたら良いという考えではなく、就職した後がスタートで、自分の学んできた技術や自分が苦しくても頑張れる所、仕事を楽しいと思える所を大切に、就活を進めていきたいと思いました。
- ジョブ・トライアルでは自分と同じ学生の方や、会社の社長さん、沢山の人たちと出会い、とても良い経験をさせていただきました。皆さん、違う考えを持っていて、お話を聞いているうちに自分の考えが以前とは変わり、就職に対する意欲が高まりました。これからは、自分の将来の目標のために、短期的な目標から立てていき、コツコツと積み重ね、目標に少しでも近づけるように、まずは就職活動に積極的に取り組んでいきたいと思います。

事業所の声

- 短期間ではありましたが、研修生が日に日に変わる姿は励みになり、研修生と直接接した社員にとっても意義のあるものでした。
- 研修生から教えられたこともあり、同時に自社の土壌の豊かさを実感することができました。
- 研修生には、わが社の業務を実際にみてもらうことで十分に業務内容を理解していただけたと思います。また、研修生からは若い発想と元気をもらった気がします。今後もこのような交流を続けていきたいと思っています。

東日本大震災の影響により、多くの若者が他地域へ流れていきました。復興に向けて、若者のチカラと可能性を、ぜひ地域で育てこれからの地域づくりに活かしていただけるように、そのきっかけづくりのお手伝いがジョブ・トライアルのミッションであると思っております。採用や人材育成等について、ぜひお気軽にご相談ください!

3.11 東日本大震災 復興支援 ~Let's go forward~

活動記録

お問い合わせは

財団法人仙台市産業振興事業団
(仙台市中小企業支援センター)

〒980-6107 仙台市青葉区中央1-3-1 AER7階
TEL: 022-724-1212 FAX: 022-715-8205
E-mail: shiencenter@siip.city.sendai.jp
URL: <http://www.siip.city.sendai.jp/>

仙台フィンランド健康福祉センター
研究開発館<FWBC推進本部>

〒981-0962 仙台市青葉区水の森3-24-1
TEL: 022-303-2666 FAX: 022-303-2667
E-mail: rdunit@sendai.fwbc.jp
URL: <http://sendai.fwbc.jp/>



交通のご案内

バス／仙台市営:「仙台駅前」下車・徒歩3分
宮城交通:「仙台駅前」下車・徒歩3分
地下鉄／仙台駅下車、青葉通・JR線方面出口から
北8番出口より・徒歩3分
JR /仙台駅下車、中央改札から名掛丁方面
8番より・徒歩2分



交通のご案内

[JR仙台駅より]
仙台市営バス西口バスターミナル13番のりば
「桜ヶ丘団地」「宮城学院」「北中山・西中山」
「長命ヶ丘」行(北仙台／川平団地経由)に乗り、
「滝道入口」で下車
所要時間・約30分